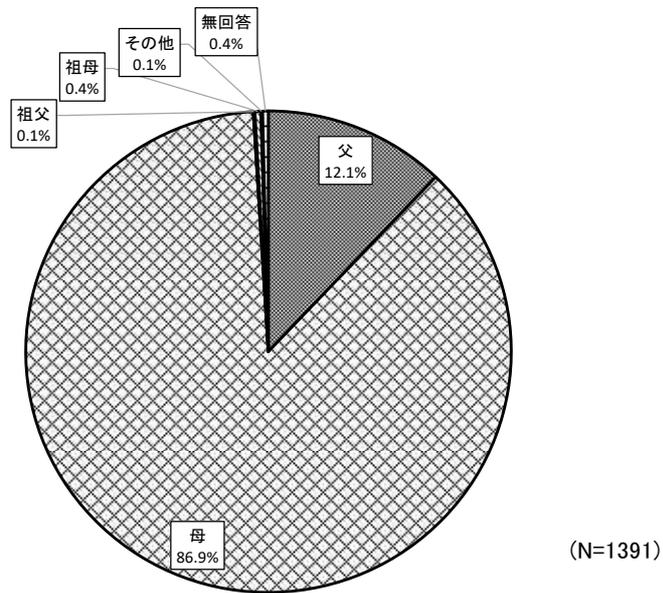


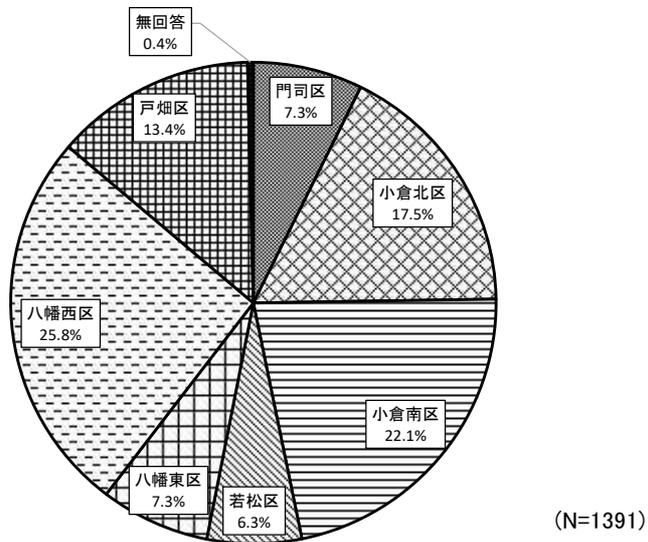
[小学生の保護者]

1. 子どもと家族の状況等

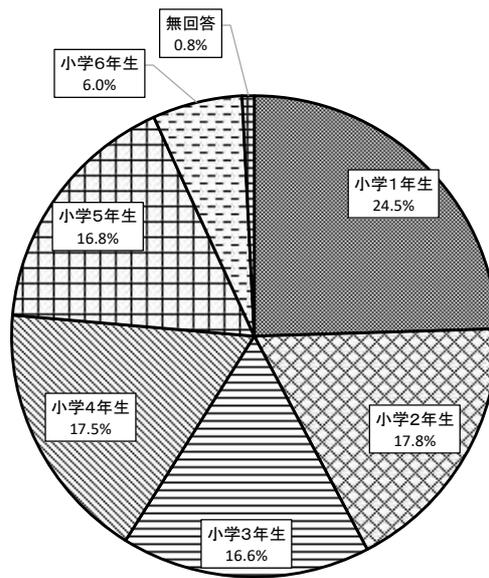
(1) 子どもと回答者の続柄(問 1)



(2) 居住区(問 2)

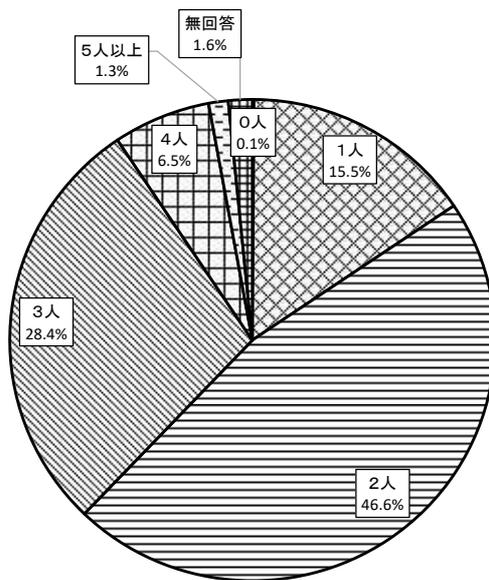


(3) 子どもの学年(問 3)



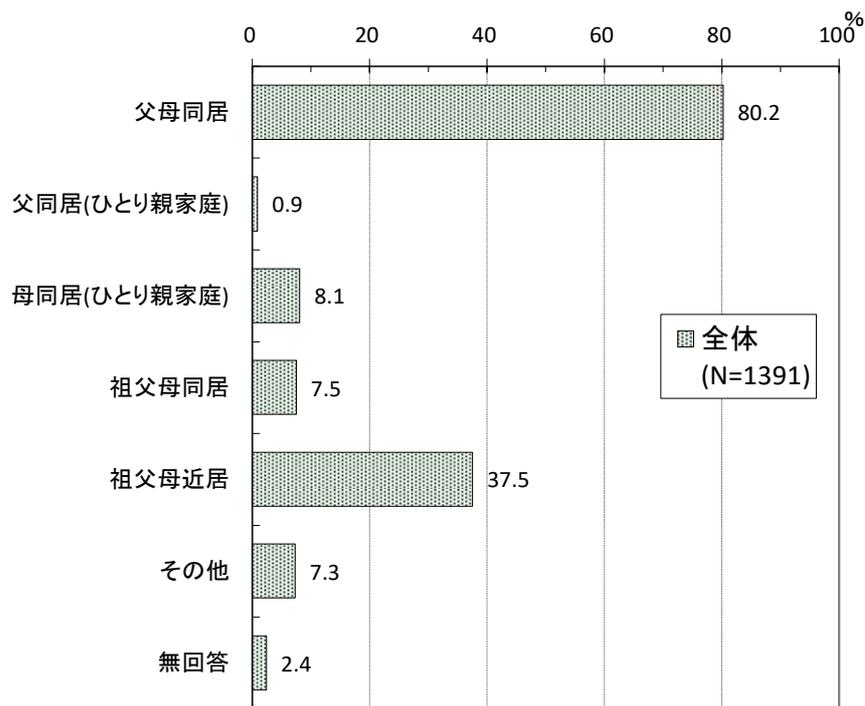
(N=1391)

(4) 子どもの人数(問 4)

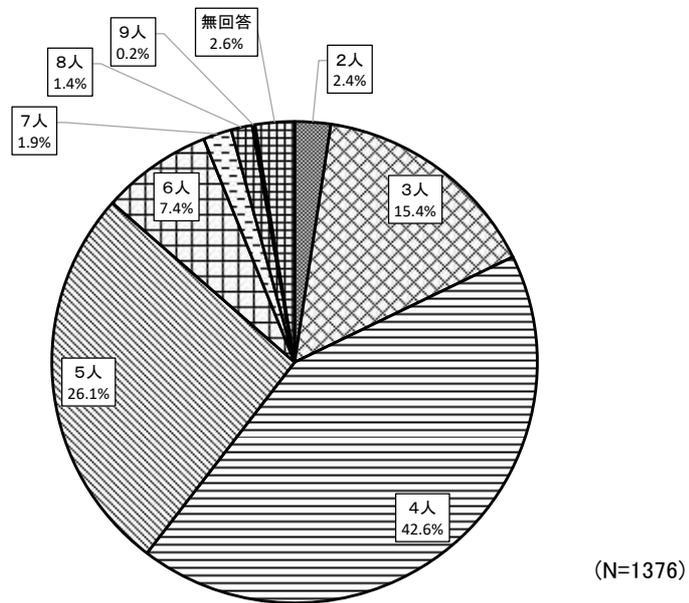


(N=1385)

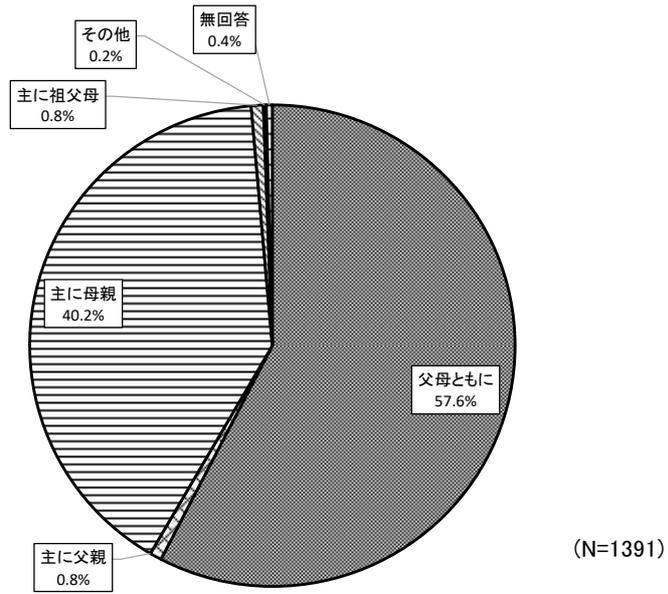
(5) 同居(近居)の状況(問5)【複数回答】



(6) 同居している家族の人数(問5)



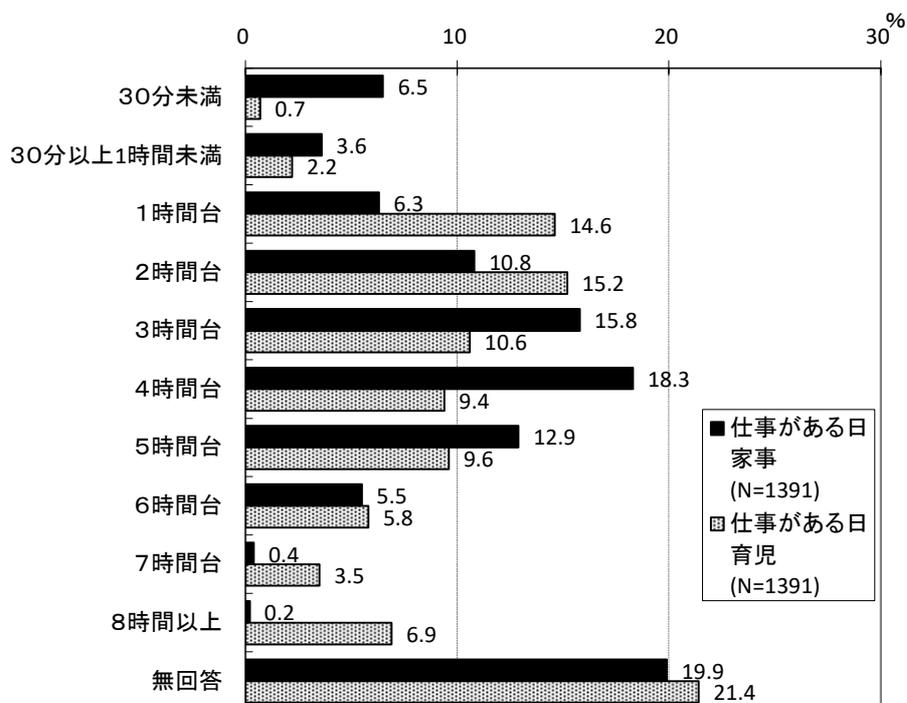
(7) 子育て(教育を含む)を主にしている人(問 6)



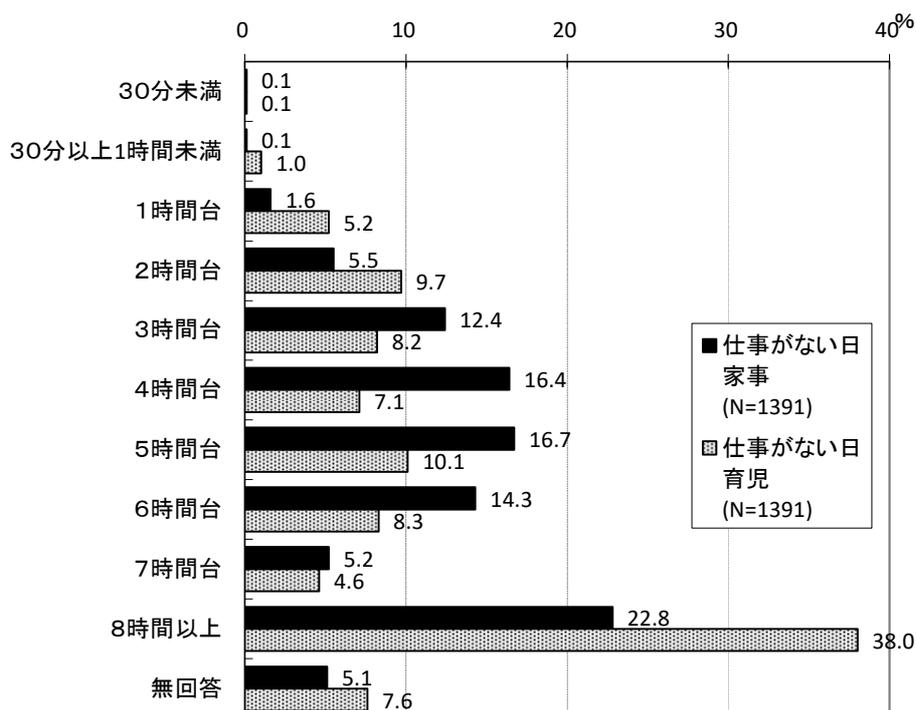
(8) 仕事がある日と仕事がない日の家事・育児時間(問7)

① 母親

仕事がある日の母親の家事時間は、「4時間台」が18.3%で最も高く、次いで「3時間台」15.8%、「5時間台」12.9%となっている。育児時間は、「2時間台」が15.2%で最も高く、次いで「1時間台」14.6%、「3時間台」10.6%となっている。

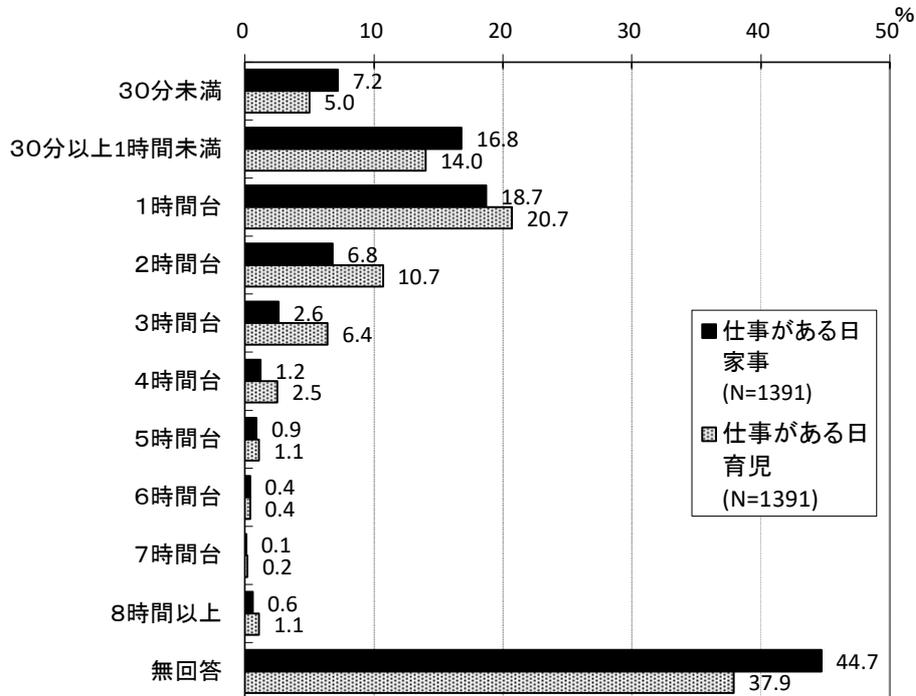


仕事がない日の母親の家事時間は、「8時間以上」が22.8%で最も高く、次いで「5時間台」16.7%、「4時間台」16.4%となっている。育児時間は、「8時間以上」が38.0%で最も高く、次いで「5時間台」10.1%となっている。

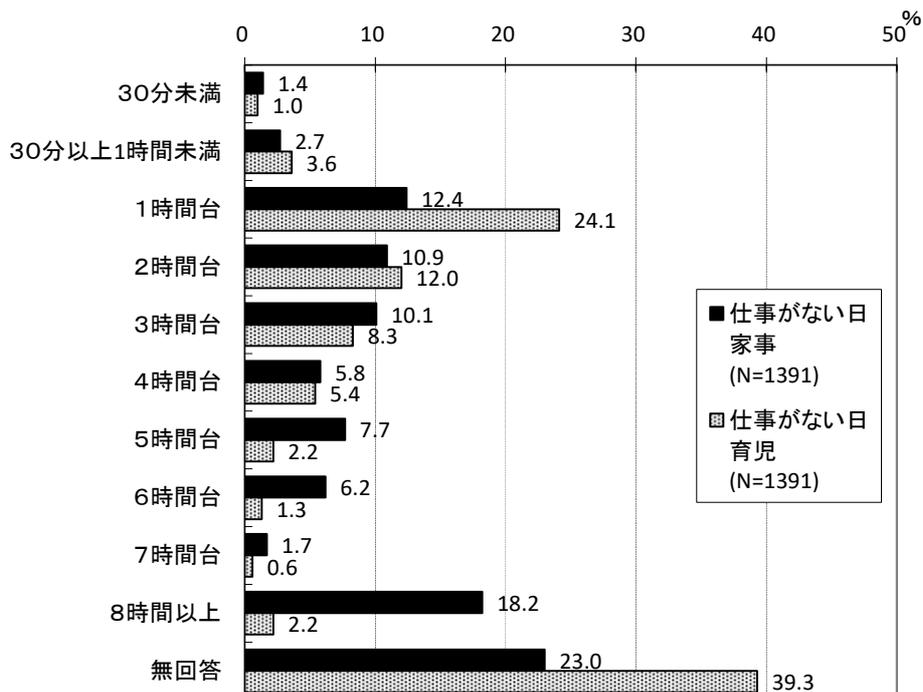


② 父親

仕事がある日の父親の家事時間は、「1時間台」が 18.7%で最も高く、次いで「30分以上1時間未満」16.8%、「30分未満」7.2%となっている。育児時間は、「1時間台」が 20.7%で最も高く、次いで「30分以上1時間未満」14.0%、「2時間台」10.7%となっている。



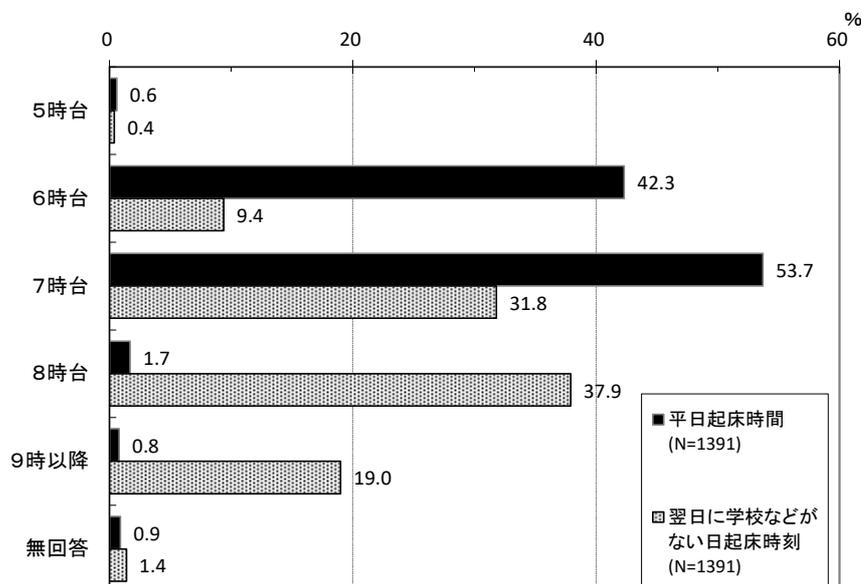
仕事がない日の父親の家事時間は、「8時間以上」が 18.2%で最も高く、次いで「1時間台」12.4%、「2時間台」10.9%となっている。育児時間は、「1時間台」が 24.1%で最も高く、次いで「2時間台」12.0%、「3時間台」8.3%となっている。



2. 子どもの生活状況

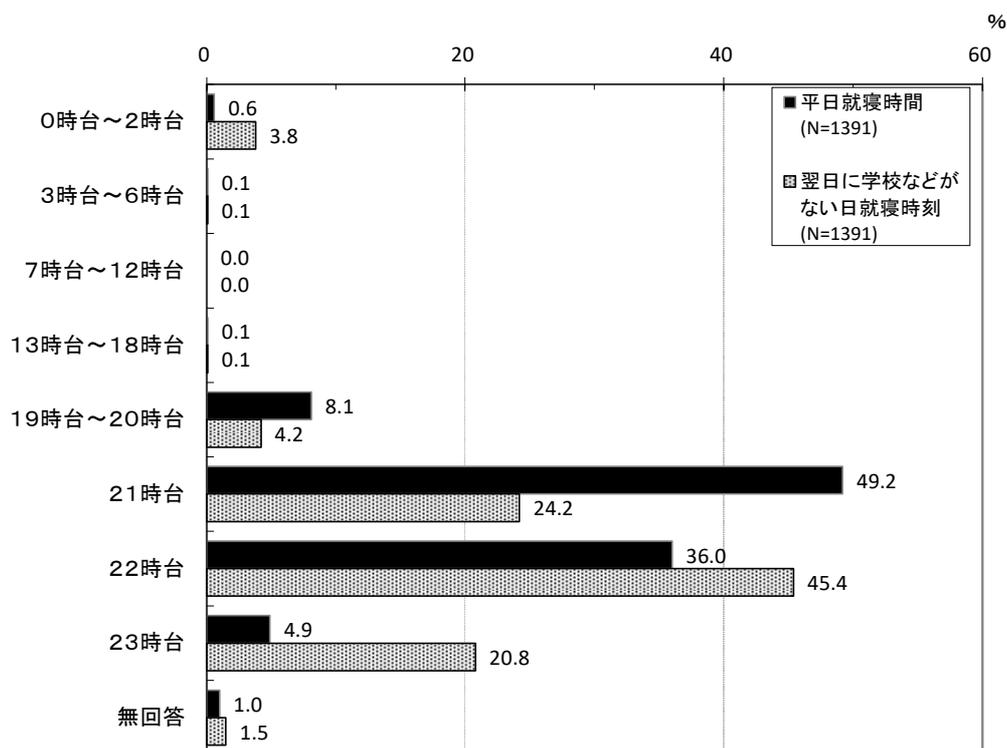
(9) 子どもの起床時刻(問 8)

平日の子どもの起床時刻は、「7時台」53.7%、「6時台」42.3%に集中している。学校がない日は、「8時台」が37.9%で最も高く、次いで「7時台」31.8%、「9時以降」19.0%となっている。



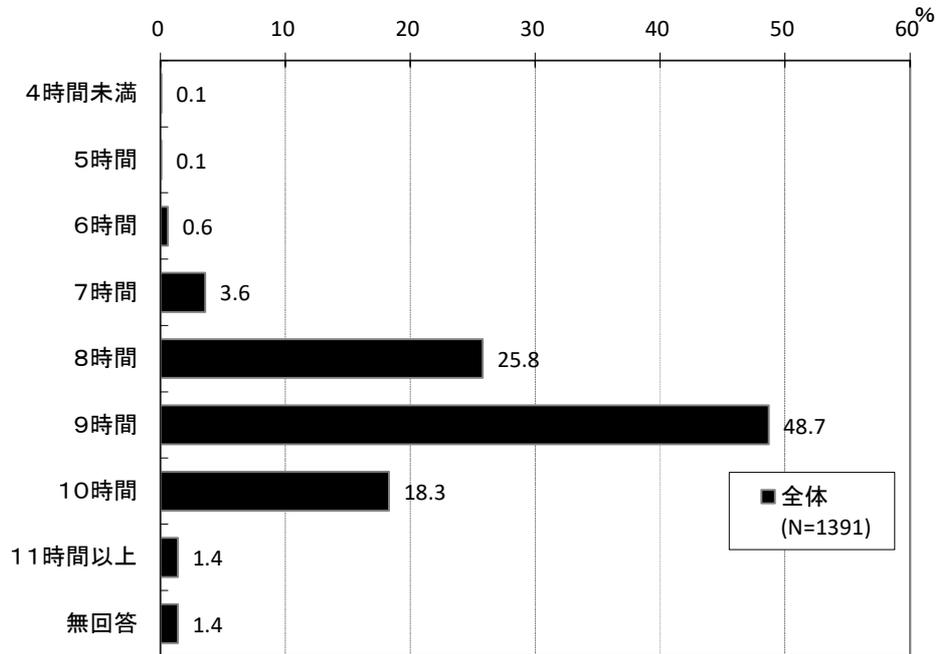
(10) 子どもの就寝時刻(問 8)

平日の子どもの就寝時刻は、「21時台」が49.2%で最も高く、次いで「22時台」36.0%、「19時台～20時台」8.1%となっている。翌日に学校がない日は、「22時台」が45.4%で最も高く、次いで「21時台」24.2%、「23時台」20.8%となっている。



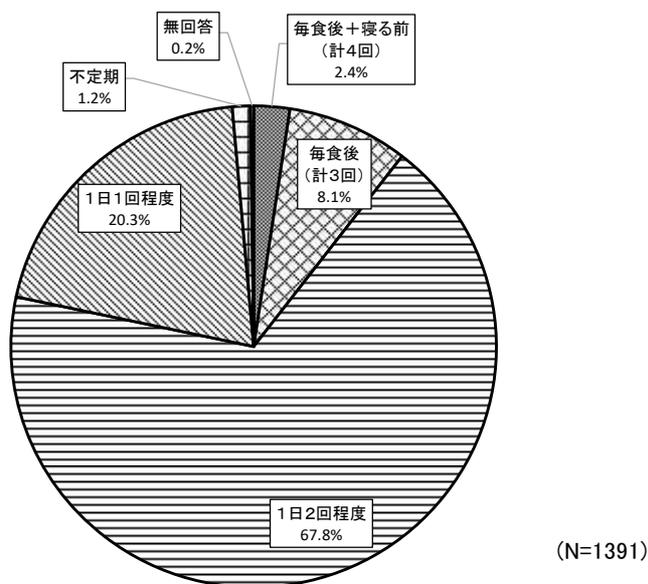
(11) 子どもの平均睡眠時間(問 8)

子どもの平均睡眠時間は、「9時間」が 48.7%で最も高く、次いで「8時間」25.8%、「10時間」18.3%となっている。



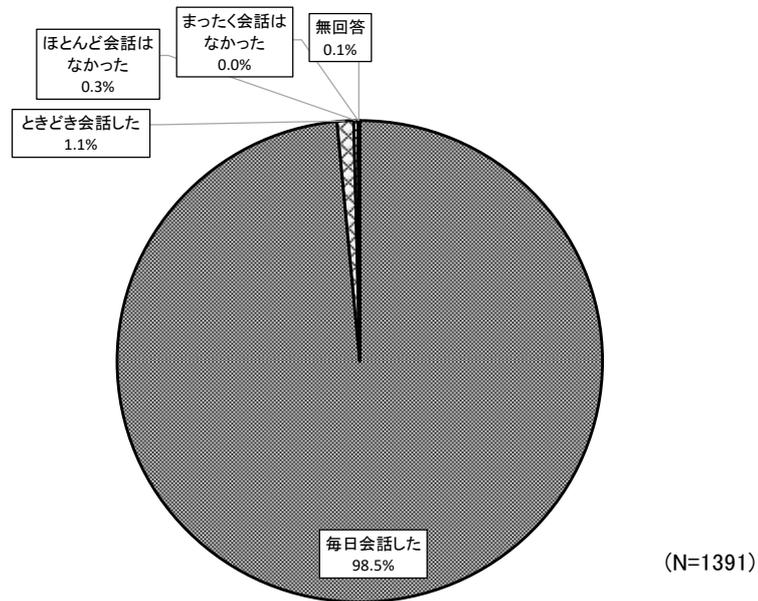
(12) 一週間の歯磨きの頻度(問 9)

一週間の歯磨きの頻度は、「1日2回程度」が 67.8%で最も高く、次いで「1日1回程度」20.3%、「毎食後(計3回)」8.1%となっている。



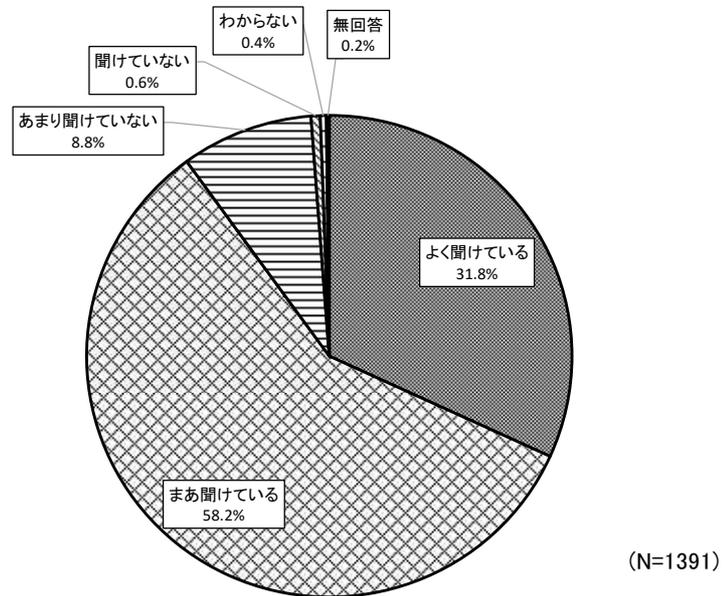
(13) 家族との会話(問 10)

家族との会話は、「毎日会話した」が 98.5%と大多数を占めている。



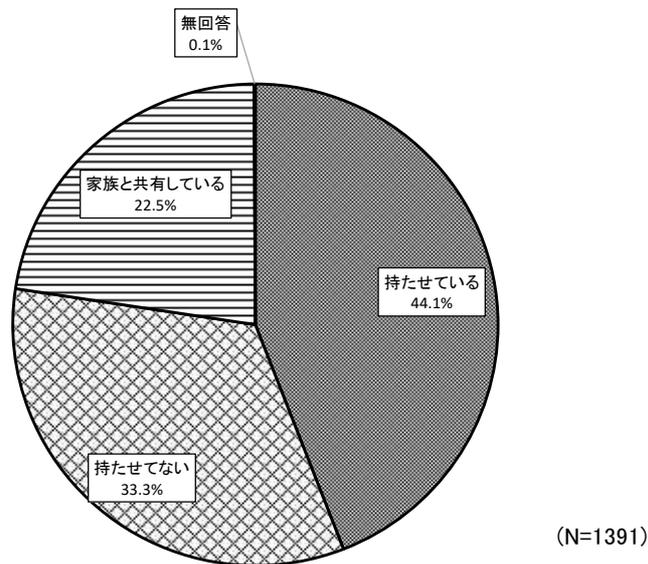
(14) 子どもの話をよく聞けているか(問 11)

子どもの話をよく聞けているかについては、「まあ聞けている」が 58.2%で最も高く、次いで「よく聞けている」31.8%、「あまり聞けていない」8.8%となっている。



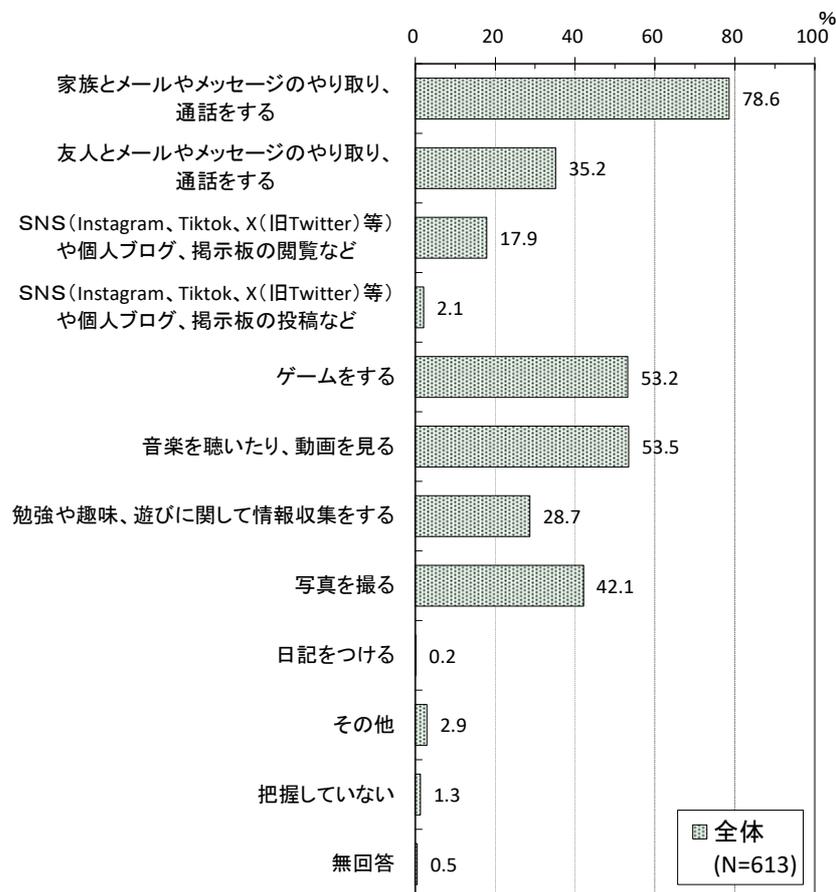
(15) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の通信機器の所有状況(問 12)

子どもの通信機器の所有状況は、「持たせている」が 44.1%で最も高く、「家族と共有している」が 22.5%、「持たせていない」が 33.3%となっている。



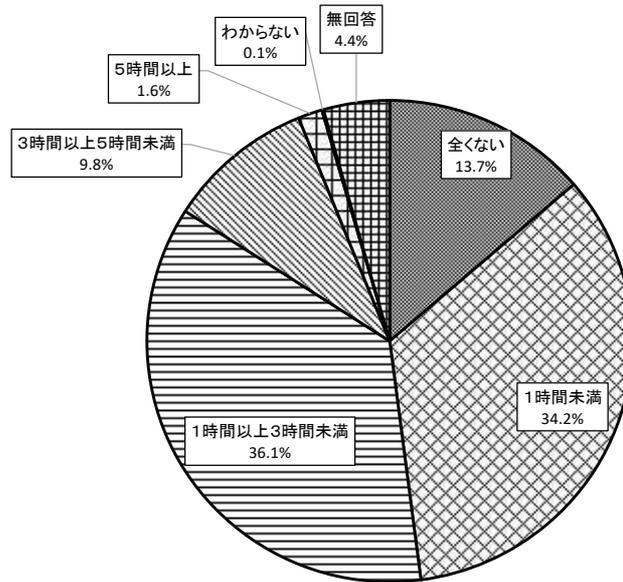
(16) 通信機器の使用目的(問 12-1)

子どもが通信機器を所有している人に使用目的を尋ねたところ、「家族とメールやメッセージのやり取り、通話をする通話をする」が 78.6%で最も高く、次いで「音楽を聴いたり、動画を見る」53.5%、「ゲームをする」53.2%となっている。



(17) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等を一日に使用する時間(問 12-2)

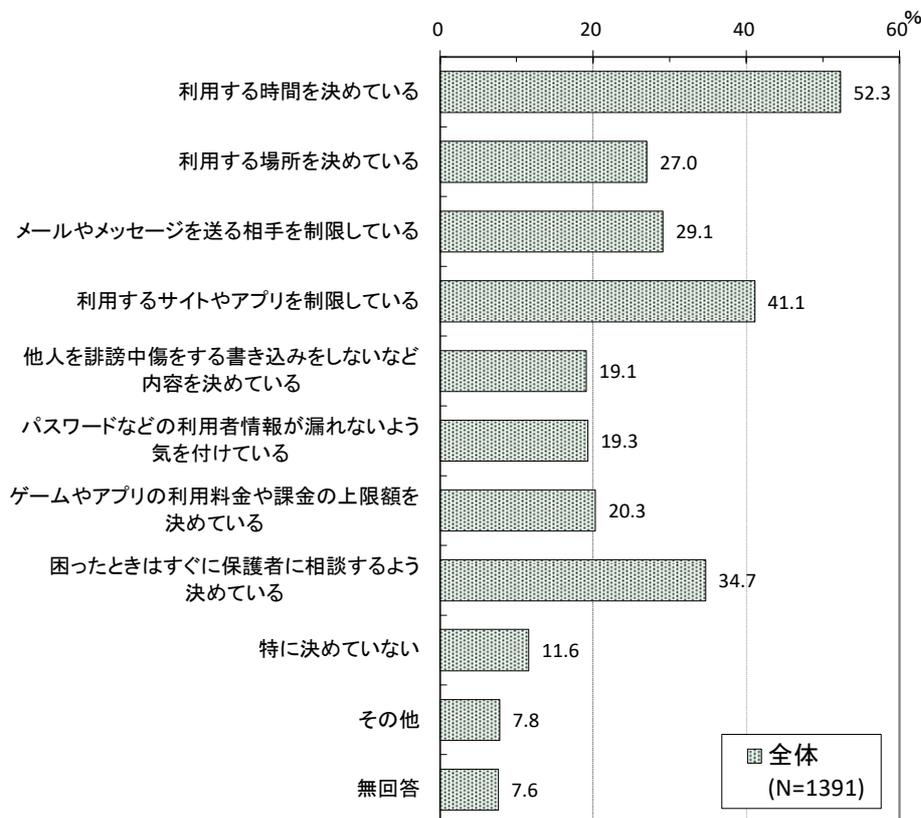
携帯電話・スマートフォン・タブレット等を一日に使用する時間は、「1時間以上3時間未満」が 36.1%で最も高く、次いで「1時間未満」34.2%、「3時間以上5時間未満」9.8%となっている。



(N=1391)

(18) 家庭内でのインターネットや SNS の使い方のルール(問 12-2)

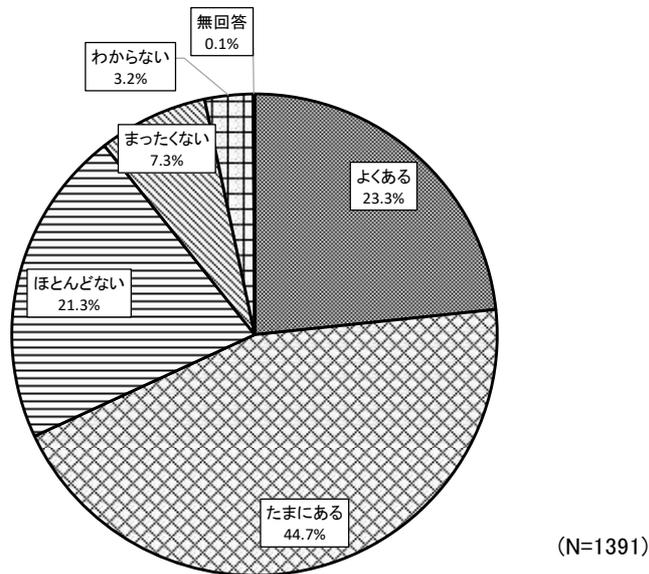
家庭内でのインターネットや SNS の使い方のルールは、「利用する時間を決めている」が 52.3%で最も高く、次いで「利用するサイトやアプリを制限している」41.1%、「困ったときはすぐに保護者に相談するよう決めている」34.7%となっている。



全体 (N=1391)

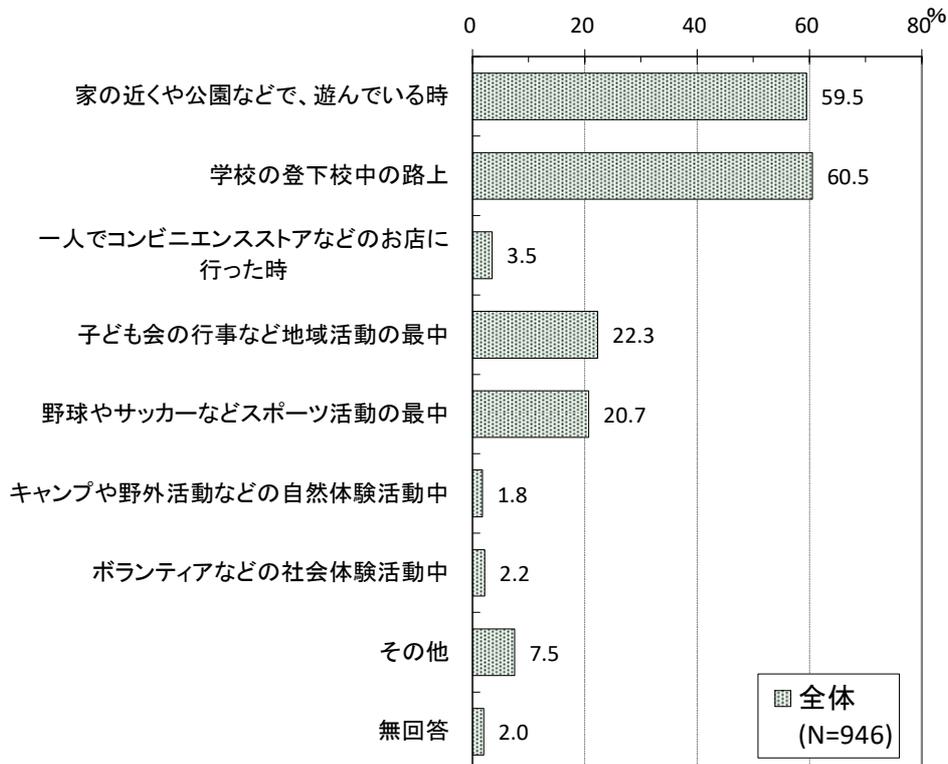
(19) 子どもと近隣の大人とのコミュニケーションの状況(問 13)

子どもと近隣の大人とのコミュニケーションの状況は、「たまにある」が 44.7%で最も高く、次いで「よくある」23.3%、「ほとんどない」21.3%となっている。



(20) 子どもが近隣の大人とコミュニケーションをとる機会(問 13-1)【複数回答】

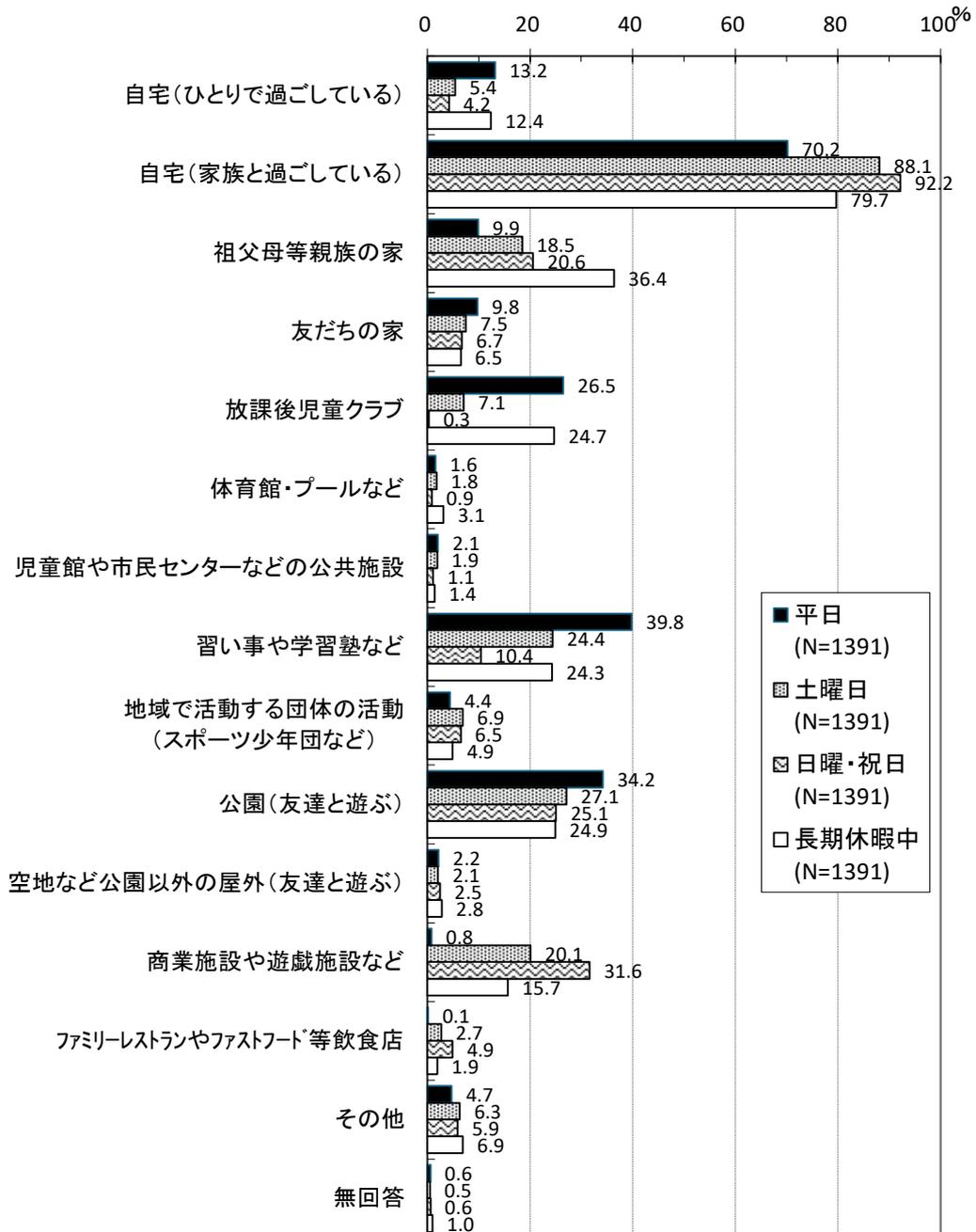
子どもが近隣の大人とコミュニケーションをとる機会は、「学校の登下校中の路上」が 60.5%で最も高く、次いで「家の近くや公園などで、遊んでいる時」59.5%、「子ども会の行事など地域活動の最中」22.3%となっている。



(21) 子どもが放課後等で過ごすことが多い場所(問 14)【複数回答】

子どもが放課後等で過ごすことが多い場所を「放課後(平日)」「土曜日」「日曜日・祝日」「長期休暇中(夏休み・冬休みなど)」別に尋ねたところ、いずれも「自宅(家族と過ごしている)」が最も高い。

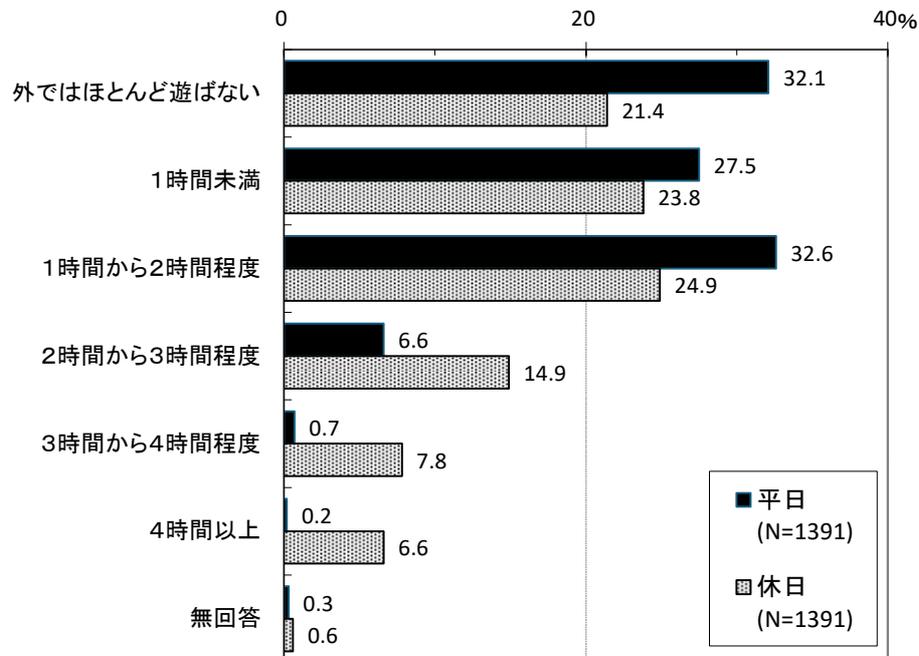
「自宅(ひとりで過ごしている)」、「習い事や学習塾など」、「放課後児童クラブ」は、「土曜日」「日曜日・祝日」より「放課後(平日)」「長期休暇中(夏休み・冬休みなど)」で高い傾向にある。「商業施設や遊戯施設など」は「放課後(平日)」「長期休暇中(夏休み・冬休みなど)」より「土曜日」「日曜日・祝日」で高い傾向がある。



(22) 子どもが屋外で遊ぶ時間(問 15)

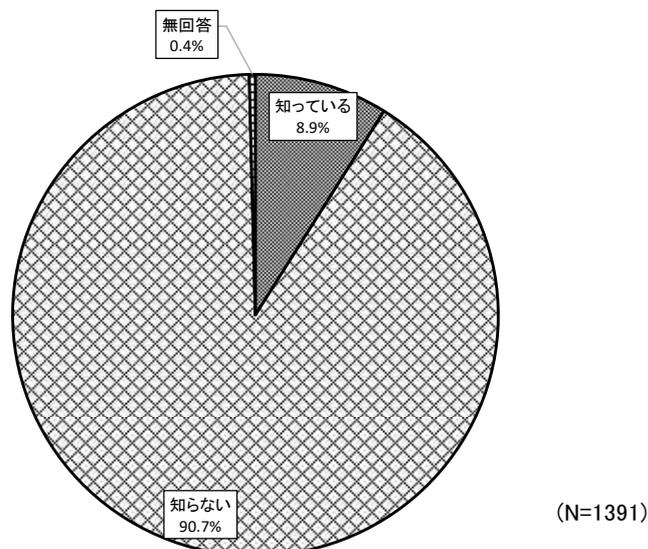
子どもが一日外で遊ぶ時間は、平日では「1時間から2時間程度」が 32.6%、「1時間未満」が 27.5%、「外ではほとんど遊ばない」が 32.1%である。休日では「1時間から2時間程度」が 24.9%、「1時間未満」が 23.8%、「外ではほとんど遊ばない」が 21.4%となっている。

2時間以上外で遊ぶ子どもの割合は平日で 7.5%、休日で 29.3%と、休日の方が外で遊ぶ時間が長くなっている。



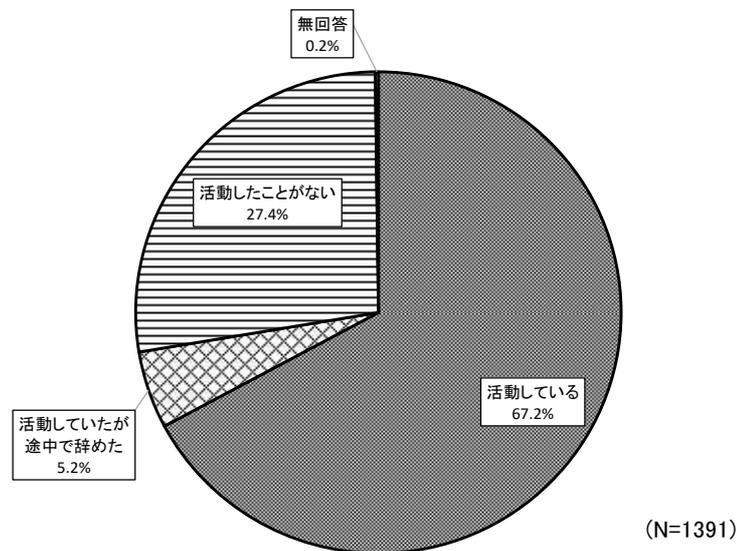
(23) 「プレーパーク」の認知度(問 15-1)

子どもたちが自然に触れあいながら、自分の責任で遊ぶことのできる外遊びの場である「プレーパーク」の認知度は、「知っている」が 8.9%、「知らない」が 90.7%となっている。



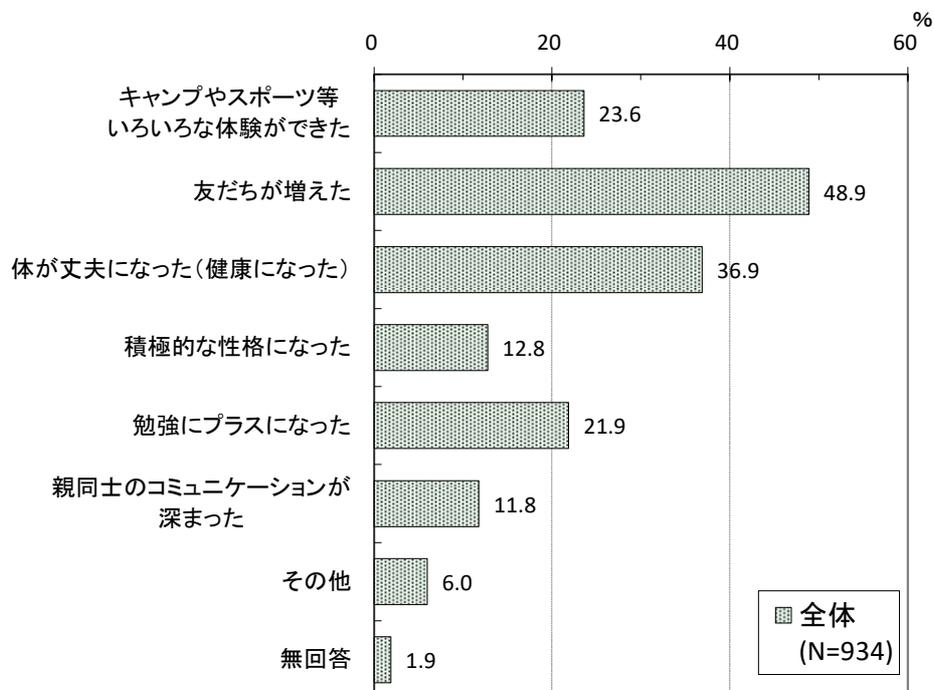
(24) 学校外の地域活動団体での活動状況(問 16)

習い事やスポーツ少年団等の学校外の地域活動団体での活動状況は、「活動している」が 67.2%、「活動したことはない」が 27.4%、「活動していたが途中で辞めた」5.2%となっている。



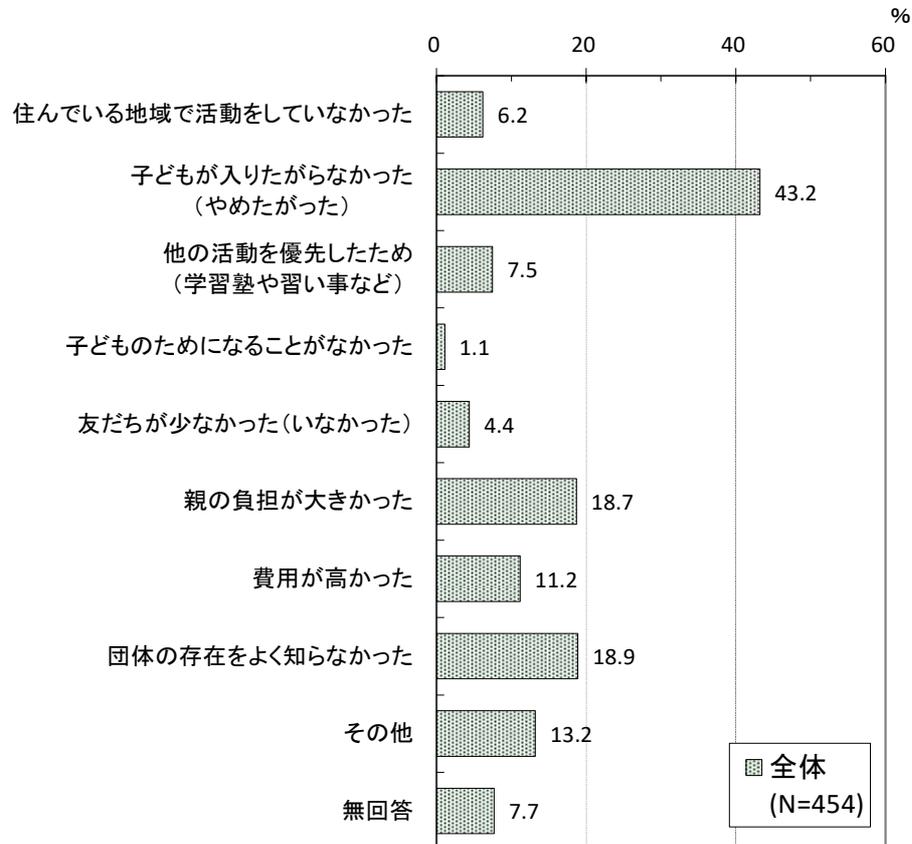
(25) 学校外の地域活動団体で活動してよかったこと(問 16-1)【複数回答】

学校外の地域活動団体で活動している人に、活動してよかったことを尋ねたところ、「友だちが増えた」が 48.9%で最も高く、次いで「体が丈夫になった(健康になった)」36.9%、「キャンプやスポーツ等いろいろな体験ができた」23.6%となっている。



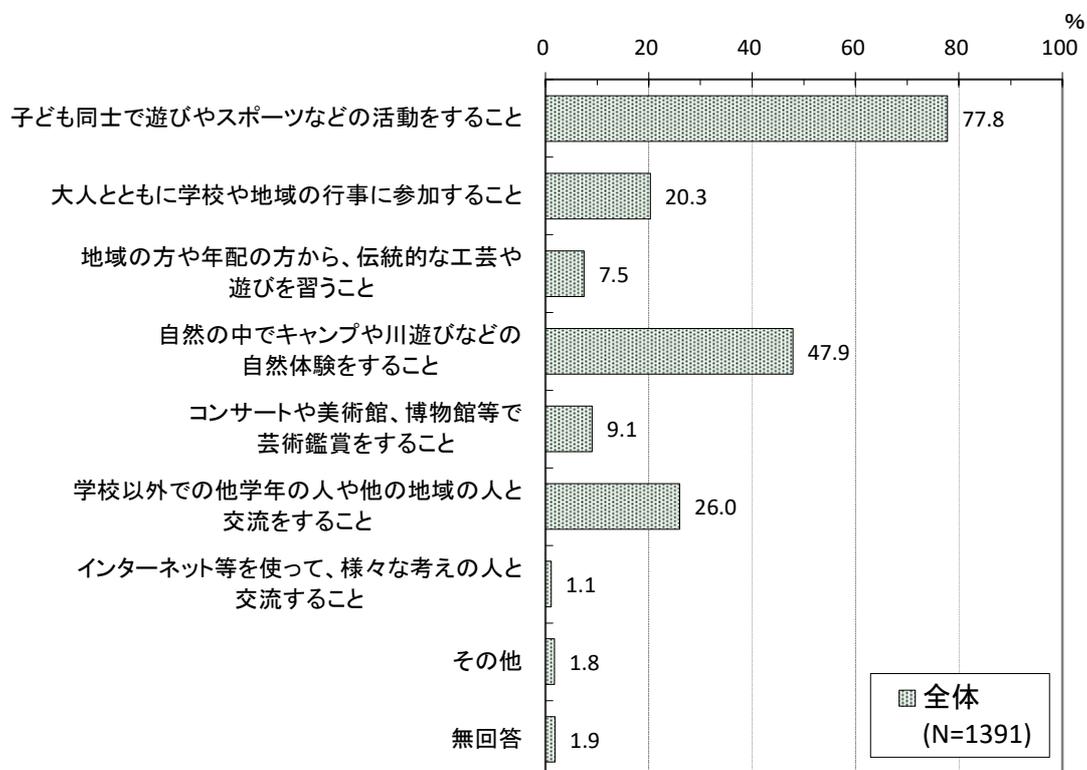
(26) 学校外の地域活動団体に活動していない(途中で辞めた)理由(問 16-2)【複数回答】

学校外の地域活動団体に活動していない(途中で辞めた)人に、していない(辞めた)理由を尋ねたところ、「子どもが入りたがらなかった(やめたがった)」が 43.2%で最も高く、次いで「団体の存在をよく知らなかった」18.9%、「親の負担が大きかった」18.7%となっている。



(27) 子どもが健全に成長するために必要な体験(問 16-3)【複数回答】

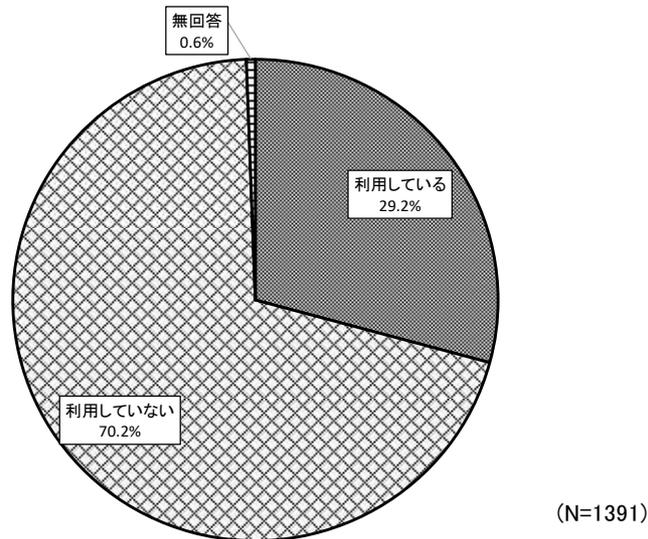
子どもが健全に成長するために必要な体験は、「子ども同士で遊びやスポーツなどの活動をする事」が 77.8%で最も高く、次いで「自然の中でキャンプや川遊びなどの自然体験をすること」47.9%、「学校以外での他学年の人や他の地域の人と交流をすること」26.0%、「大人とともに学校や地域の行事に参加すること」20.3%となっている。



3. 放課後児童クラブの利用

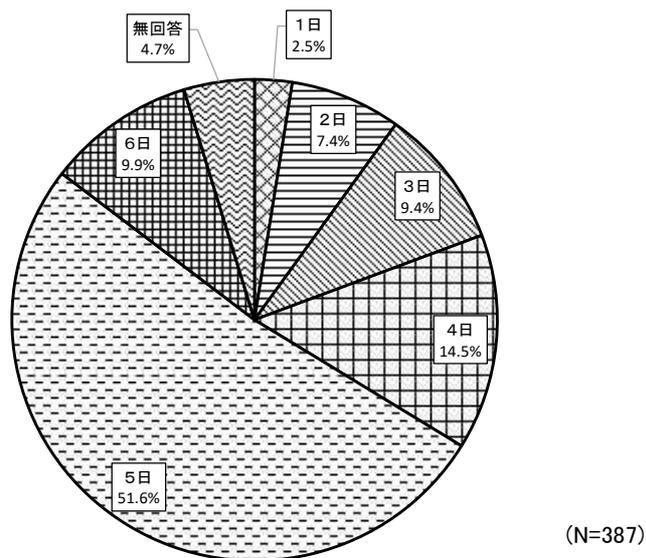
(28) 放課後児童クラブの利用状況(問 17)

放課後児童クラブの利用状況は、「利用している」が 29.2%、「利用していない」が 70.2%となっている。



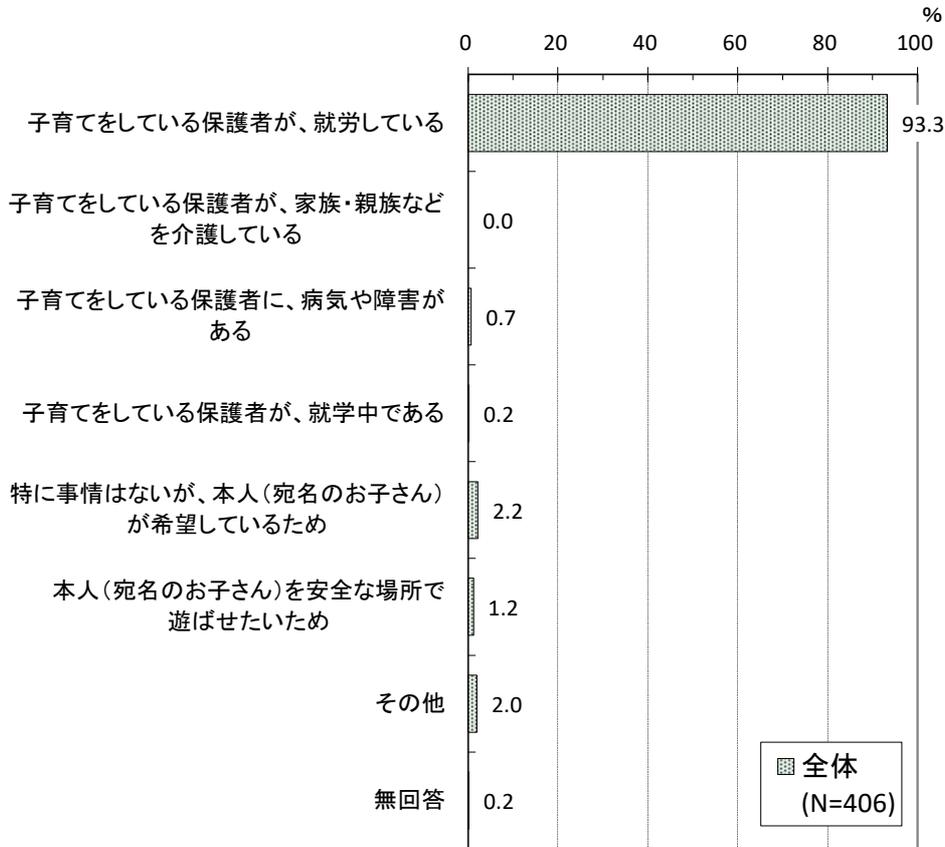
(29) 放課後児童クラブの利用日数(問 17-1)

放課後児童クラブの利用日数は、「5日」が 51.7%で最も高く、次いで「4日」14.5%、「6日」9.9%、「3日」9.4%となっている。



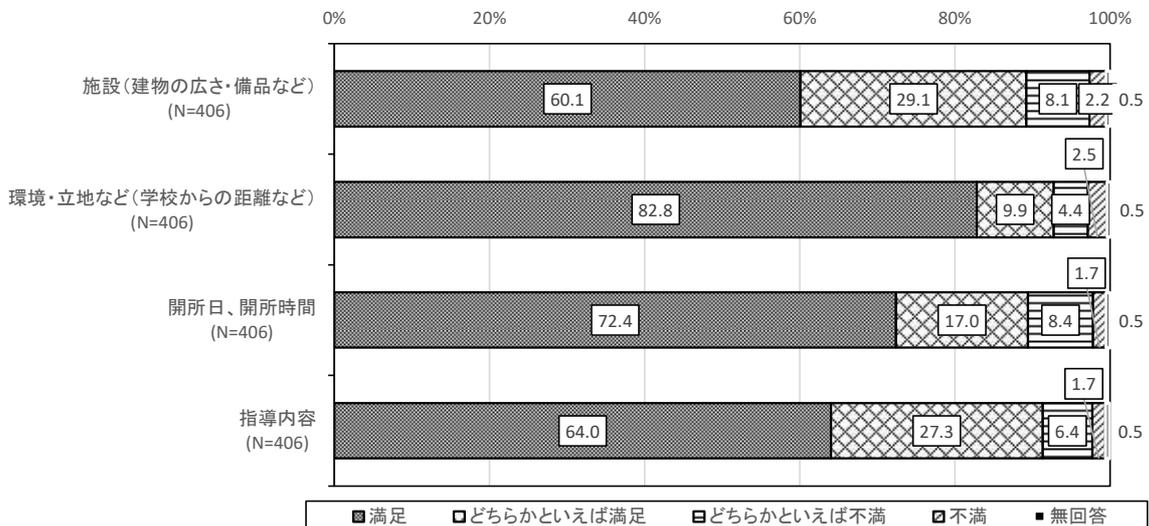
(30) 放課後児童クラブを利用している理由(問 17-1)

放課後児童クラブを利用している理由は、「子育てをしている保護者が、就労している」が 93.3%で圧倒的多数となっている。



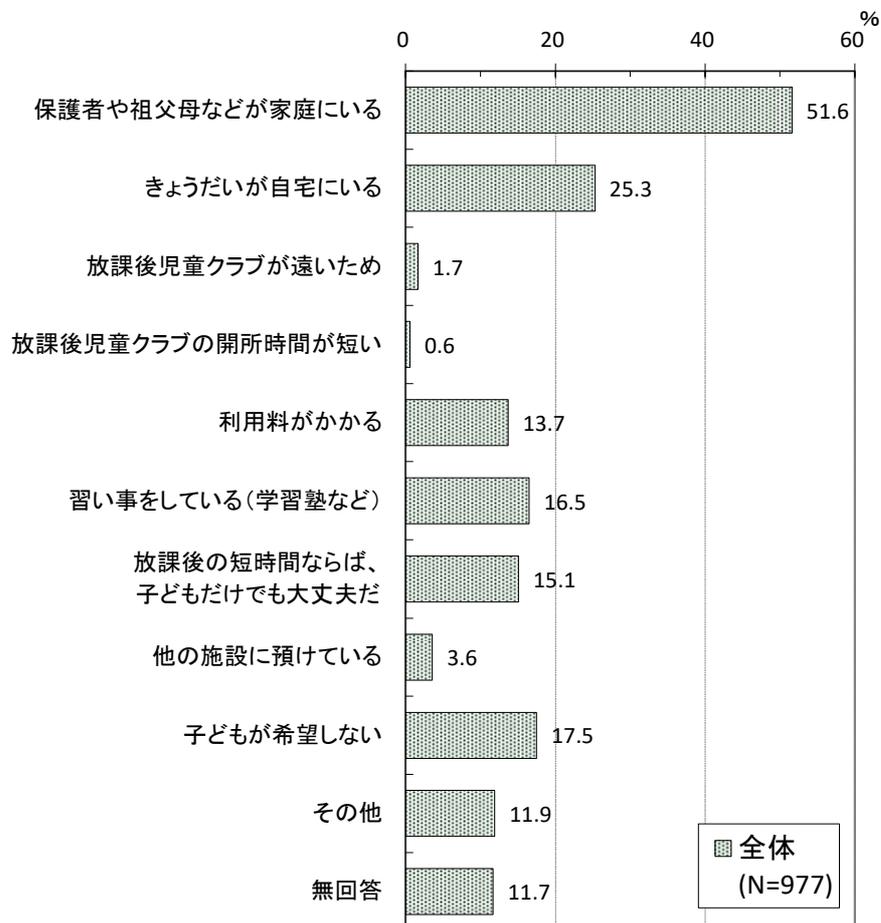
(31) 現在利用している放課後児童クラブの満足度(問 17-2)

(28)で「利用している」と回答した人に放課後児童クラブの満足度を4項目で尋ねたところ、いずれの項目も「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』の割合が9割を占め、一定の評価を受けている。「環境・立地など(学校からの距離など)」は『満足』が 92.7%で最も高く、次いで「指導内容」の『満足』が 91.3%となっている。



(32) 放課後児童クラブを利用していない理由(問 17-3)【複数回答】

放課後児童クラブを利用していない理由は、「保護者や祖父母などが家庭にいる」が 51.6%で最も高く、次いで「きょうだいが自宅にいる」25.3%、「子どもが希望しない」17.5%となっている。

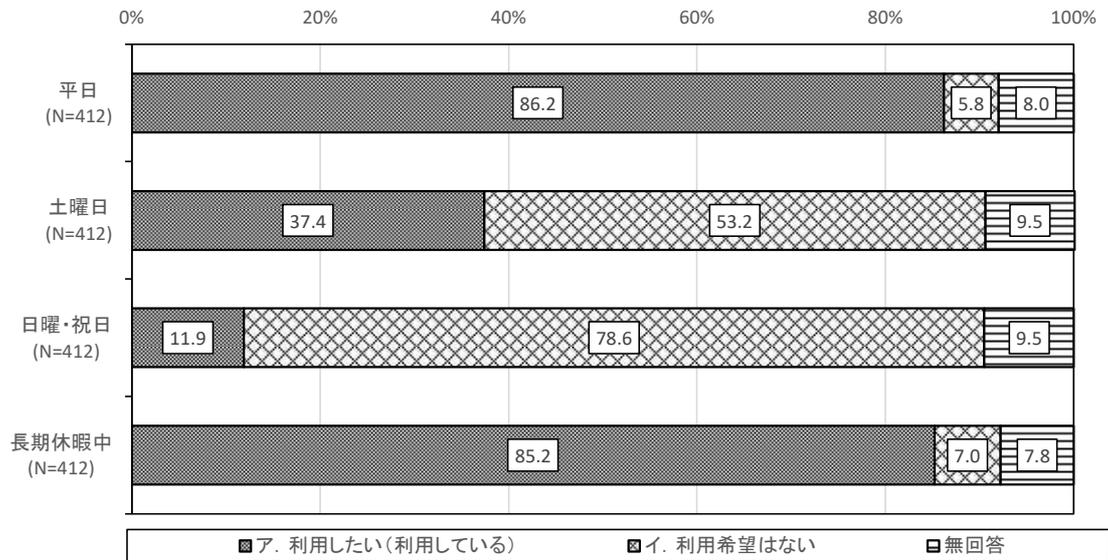


(33) 放課後児童クラブの利用希望(問 17-4)

(28)で放課後児童クラブを「利用している」、または(32)で「放課後児童クラブの開所時間が短い」と回答した人に、「平日」「土曜日」「日曜日・祝日」「長期休暇」ごとに利用希望を尋ねた。

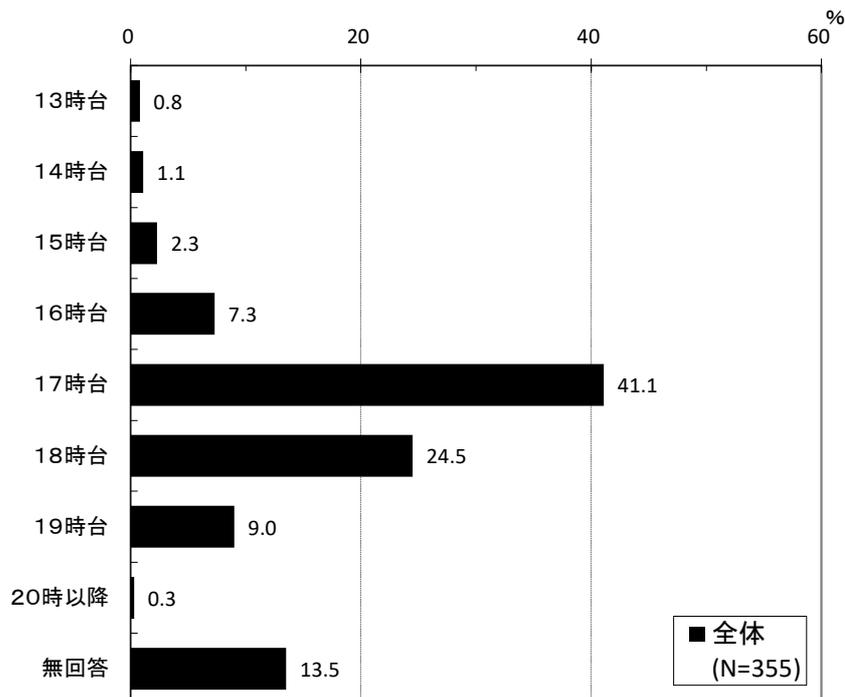
① 利用希望

放課後児童クラブを「利用したい(利用している)」という利用希望者は、平日が 86.2%で最も高く、長期休暇中 85.2%、土曜日 37.4%、日曜・祝日 11.9%となっている。



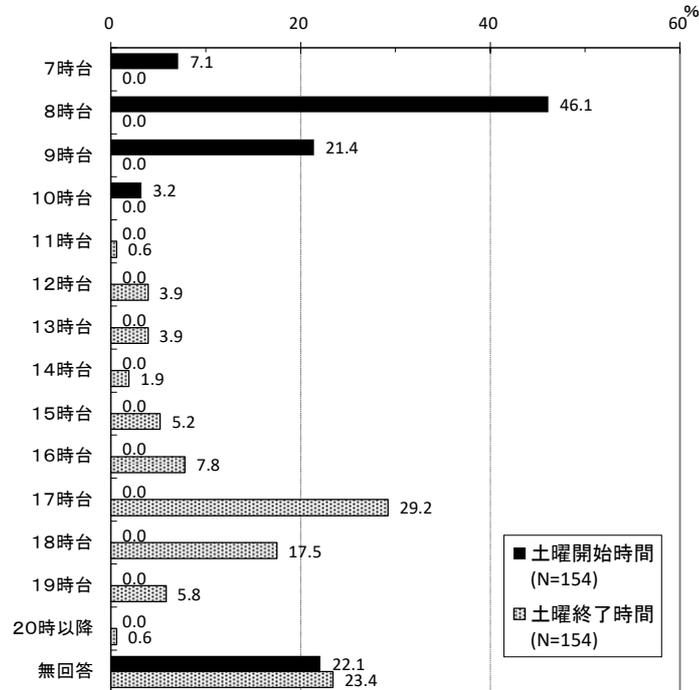
② 利用希望時間帯(平日)

平日の下校時からの利用希望利用終了時間は「17時台」が 41.1%で最も高く、次いで「18時台」24.5%、「19時台」9.0%となっている。



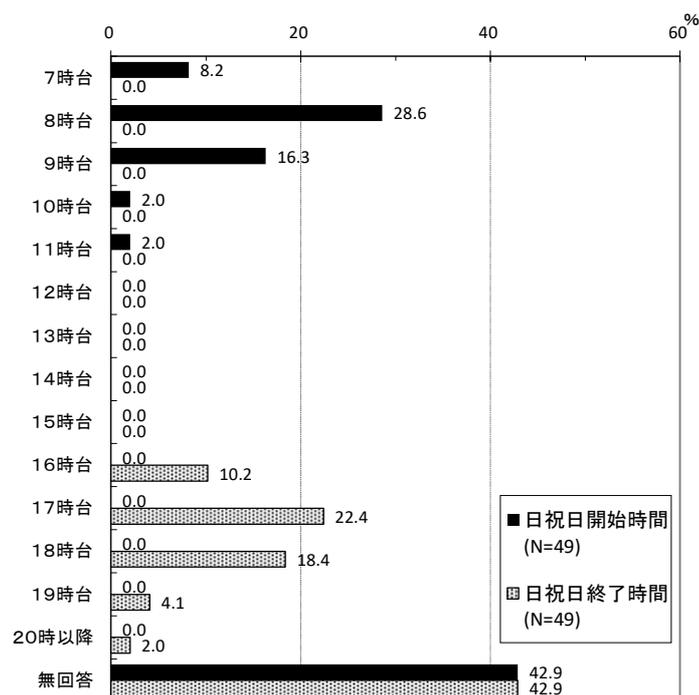
③ 利用希望時間帯(土曜日)

土曜日の希望する利用開始時間は、「8時台」が 46.1%で最も高く、次いで「9時台」21.4%、「7時台」7.1%となっている。希望する利用終了時間は、「17時台」が 29.2%で最も高く、次いで「18時台」17.5%、「16時台」7.8%となっている。



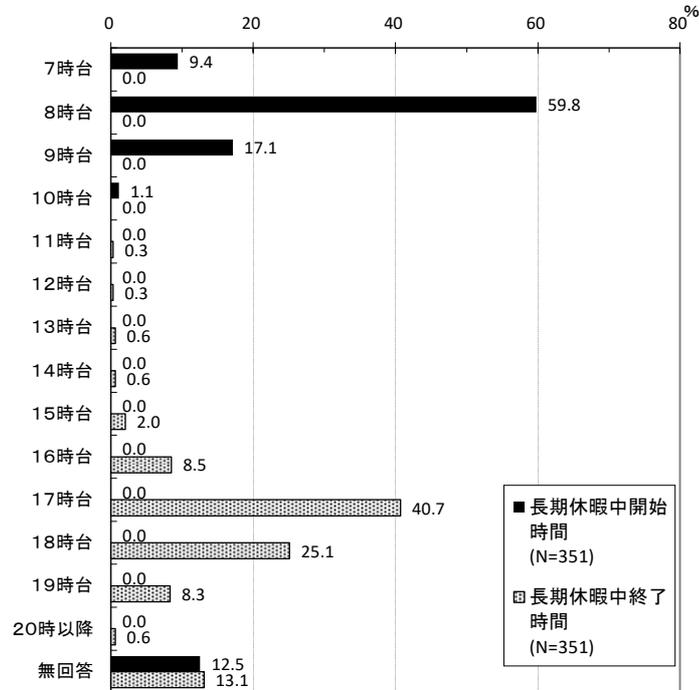
④ 利用希望時間帯(日曜・祝日)

日曜・祝日の希望する利用開始時間は、「8時台」が 28.6%で最も高く、次いで「9時台」16.3%、「7時台」8.2%となっている。希望する利用終了時間は、「17時台」が 22.4%で最も高く、次いで「18時台」18.4%、「16時台」10.2%となっている。



⑤ 利用希望時間帯(長期休暇中)

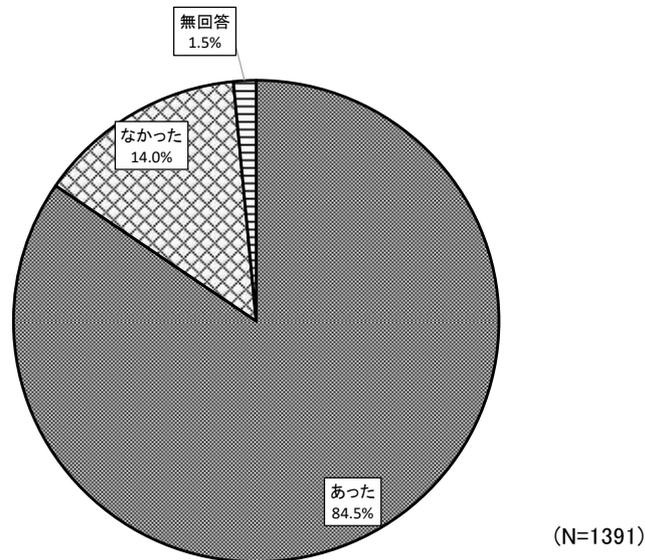
長期休暇中の希望する利用開始時間は、「8時台」が 59.8%で最も高く、次いで「9時台」17.1%、「7時台」9.4%となっている。希望する利用終了時間は、「17時台」が 40.7%で最も高く、次いで「18時台」25.1%、「16時台」8.5%となっている。



4. 一時的な保育が必要な対応について

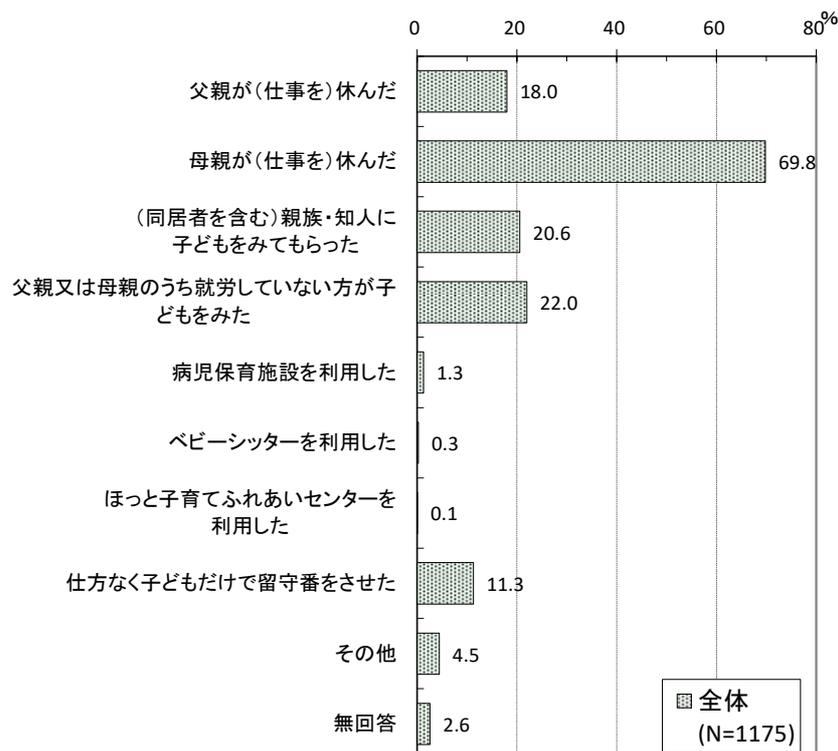
(34) 子どもが病気やケガで学校を休んだ日の有無(問 18)

子どもがこの1年間に病気やケガで学校を休んだ日は「あった」が 84.5%、「なかった」が 14.0%となっている。



(35) 子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法(問 18-1)【複数回答】

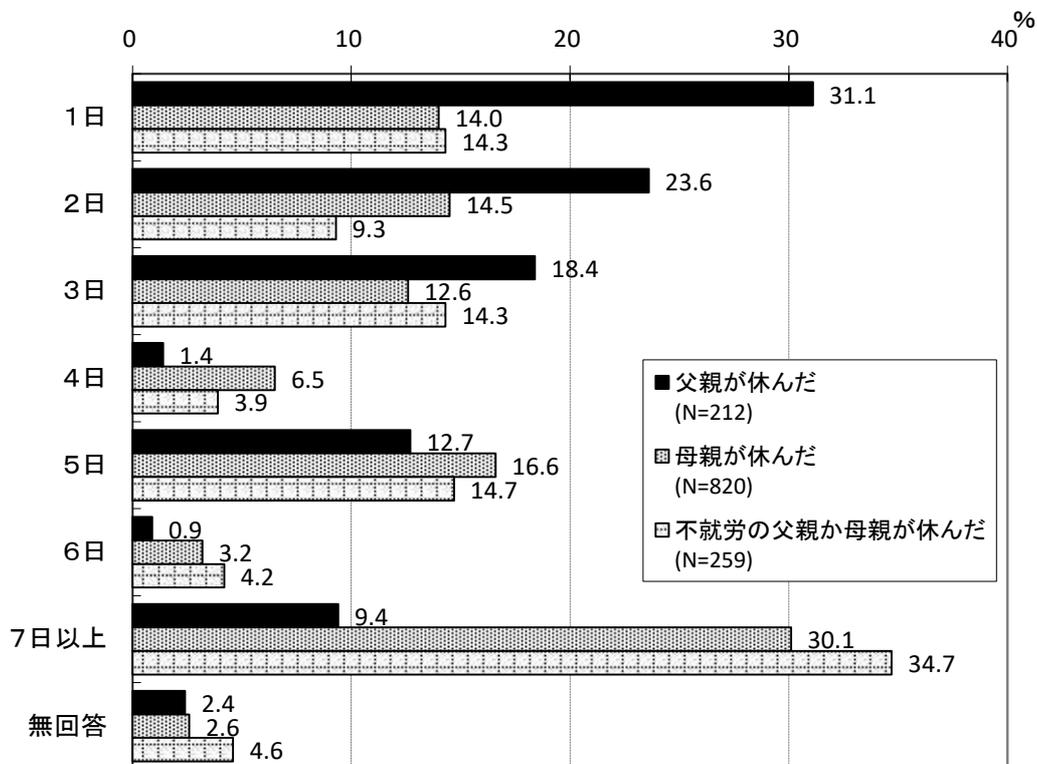
(34)で「あった」と回答した人にその対処方法を尋ねたところ、「母親が(仕事を)休んだ」が 69.8%で最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」22.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」20.6%となっている。



【小学生の保護者】

父親が休んだ日数は「1日」が 31.1%で最も高く、次いで「2日」23.6%、「3日」18.4%となっている。
 「母親が休んだ」日数は、「7日以上」が 30.1%で最も高く、次いで「5日」16.6%、「2日」14.5%となっ
 ている。

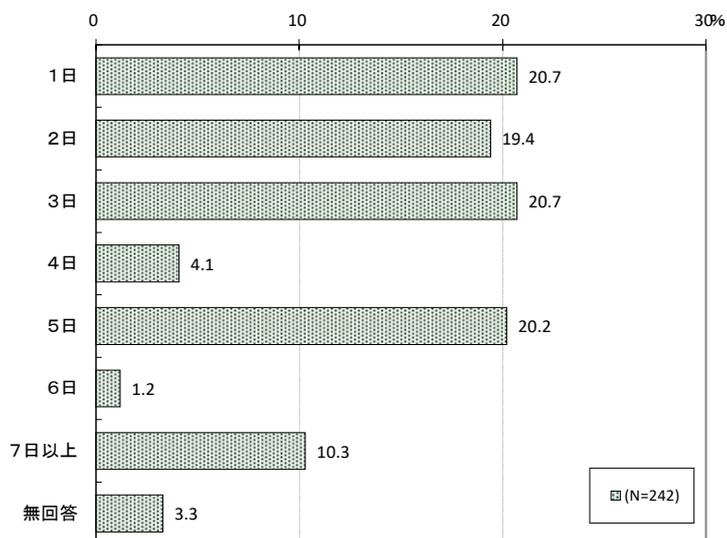
「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを見た」日数は「7日以上」が 34.7%で最も高く、次い
 で「5日」14.7%、「3日」「1日」が 14.3%となっている。



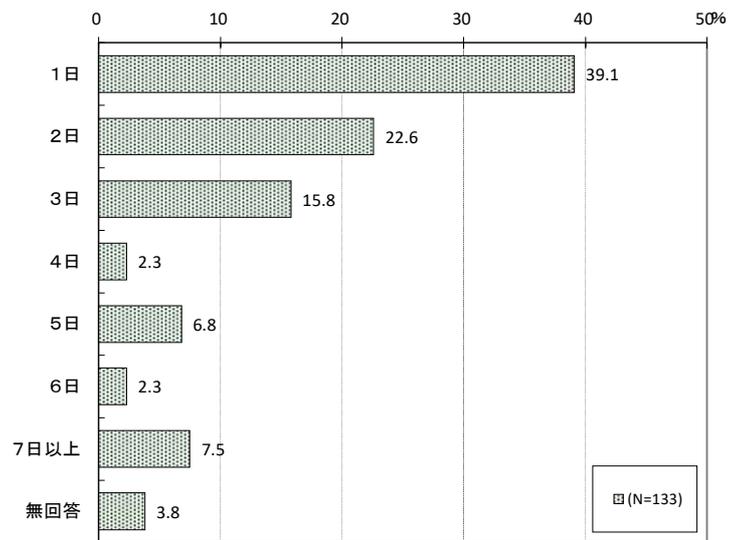
その他の対処日数は次の通りである。

(注)「病児保育を利用した」、「ほっと子育てふれあいセンターを利用した」は、回答数が 15 件以下のため、
 表記していない。

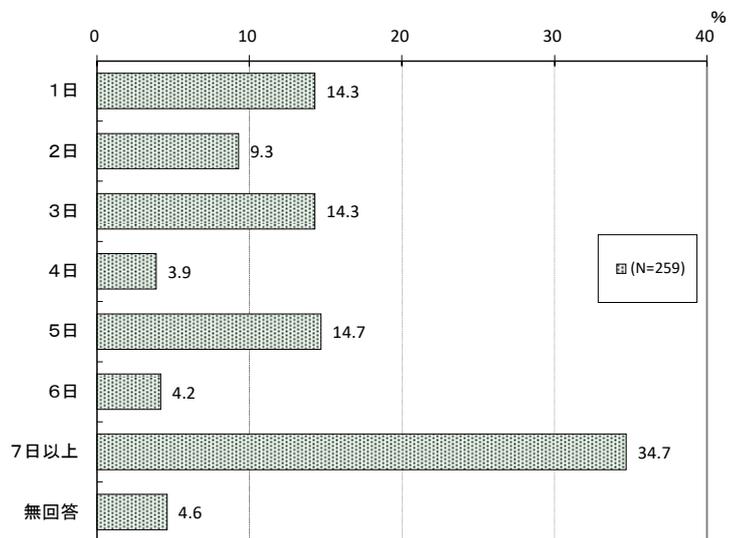
○(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった



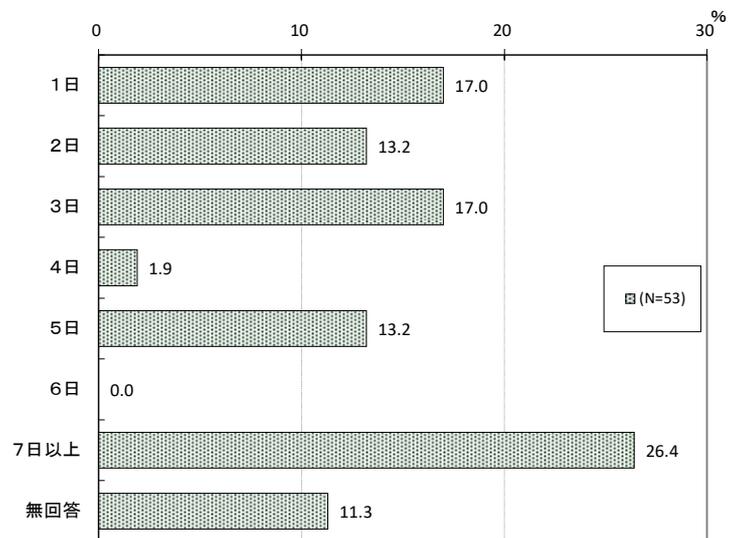
○仕方なく子どもだけで留守番をさせた



○ベビーシッターを利用した



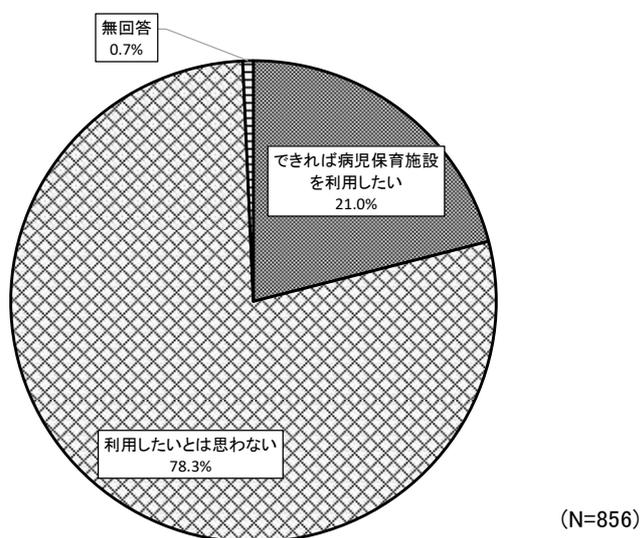
○その他



(36) 病児保育施設の利用希望と利用希望日数(問 18-2)

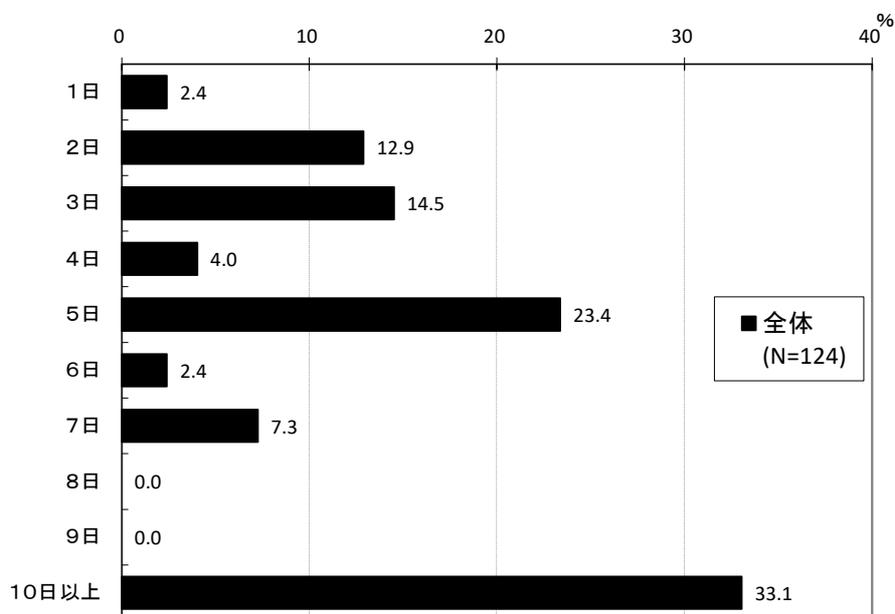
【利用希望】

(35)で「父親が休んだ」、または「母親が休んだ」と回答した人に、病児保育施設を利用したいか尋ねたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 21.0%、「利用したいとは思わない」が 78.3%である。



【利用希望日数】

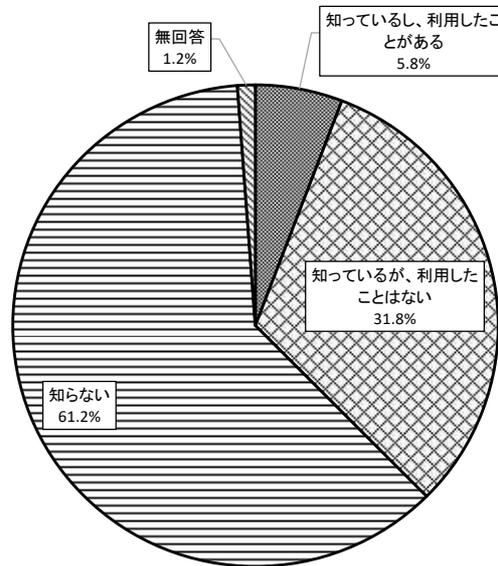
希望利用日数は「10日以上」が 33.1%で最も高く、次いで「5日」23.4%、「3日」14.5%となっている。



(注)希望利用日数は無回答が多かったため、無回答を除いた%を表示している。

(37) ファミリーサポートセンター事業の認知度(問 19)

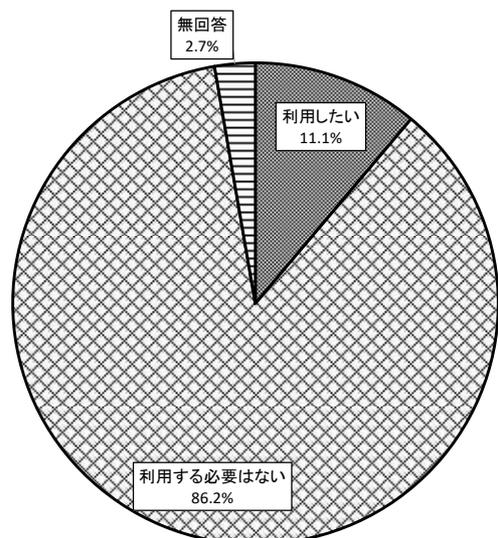
ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)の認知度は「知っているし、利用したことがある」が 5.8%、「知っているが利用したことはない」が 31.8%となっている。



(38) ファミリーサポートセンター事業の利用意向と希望日数(問 19-1)

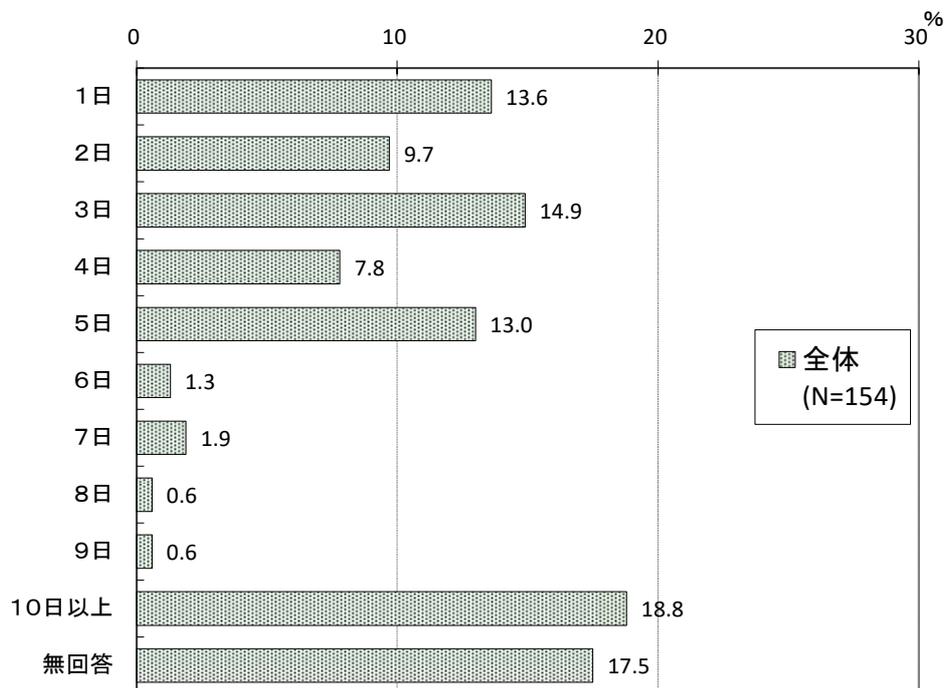
【利用意向】

ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)の今後の利用意向は「利用したい」が 11.1%、「利用する必要はない」が 86.2%となっている。



【利用日数】

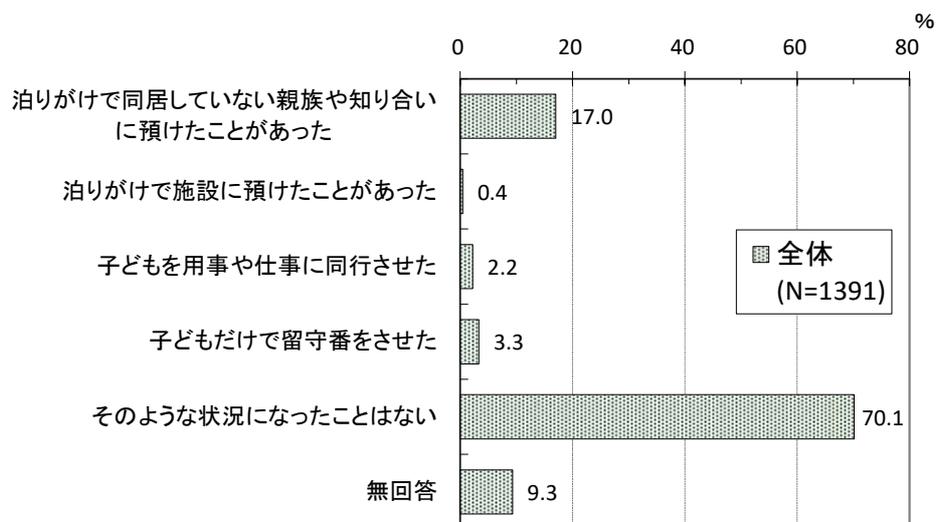
ファミリーサポートセンター事業(ほっと子育てふれあい事業)を「利用したい」人の利用希望日数は「10日以上」が18.8%で最も高く、次いで「3日」14.9%、「1日」13.6%となっている。



(39) この1年間に子どもを泊りがけで預けた状況(問 20)

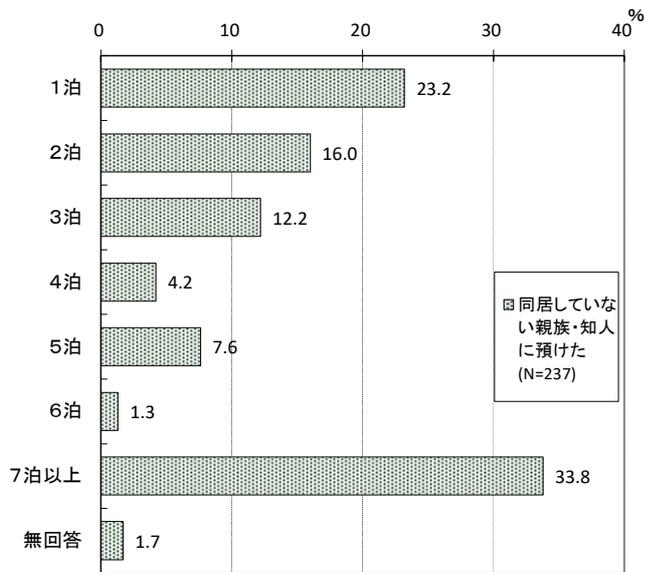
【預けた状況】

この1年間に保護者の用事や仕事、育児疲れなどで、子どもを泊りがけで預けた状況があるか尋ねたところ、「そのような状況になったことはない」が70.1%で最も高く、次いで「泊りがけで同居していない親族や知り合いに預けたことがあった」17.0%となっている。

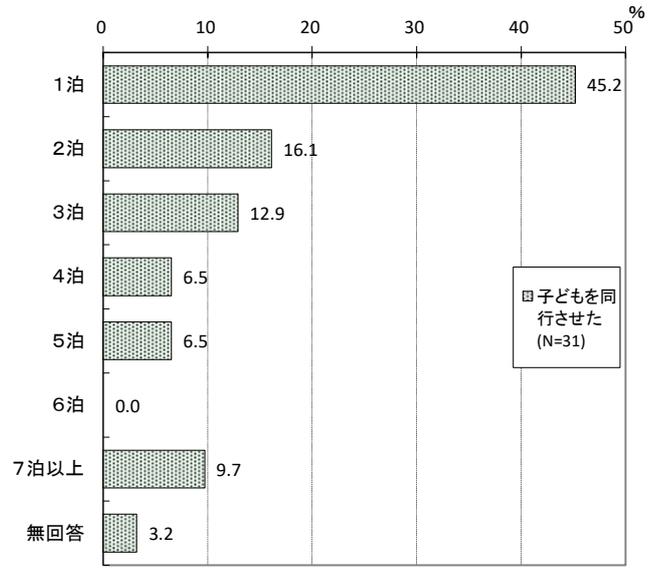


【預けた日数】

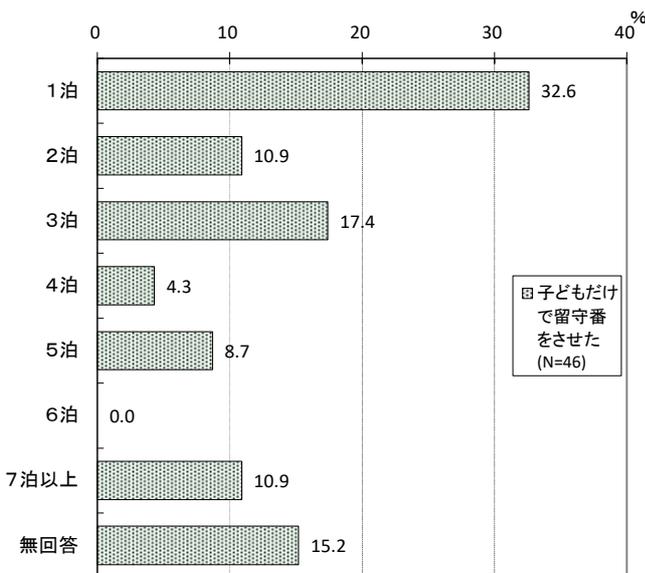
○同居していない親族・知人に預けた



○子どもを同行させた



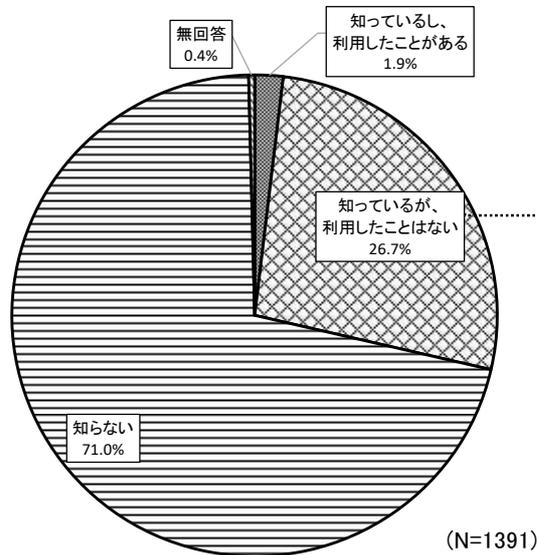
○子どもだけで留守番をさせた



(注)「泊まりがけで施設に預けた」は回答数が5件のため表示していない。

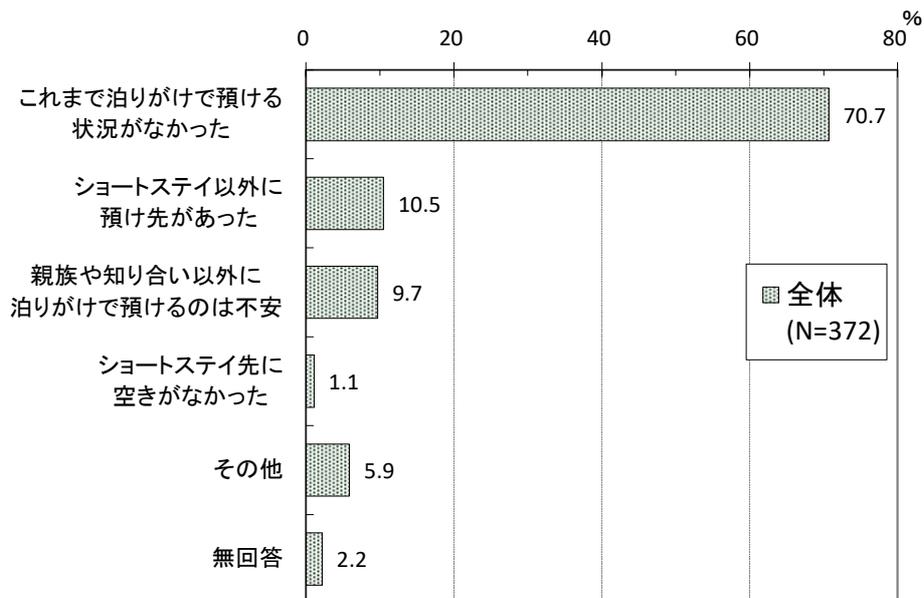
(40) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の認知度(問 20-1)

親子短期支援事業(ショートステイ事業)の認知度は、「知っているし、利用したことがある」が 1.9%、「知っているが、利用したことはない」が 26.7%となっている。「知らない」は 71.0%である。



(41) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)を利用しない理由(問 20-2)

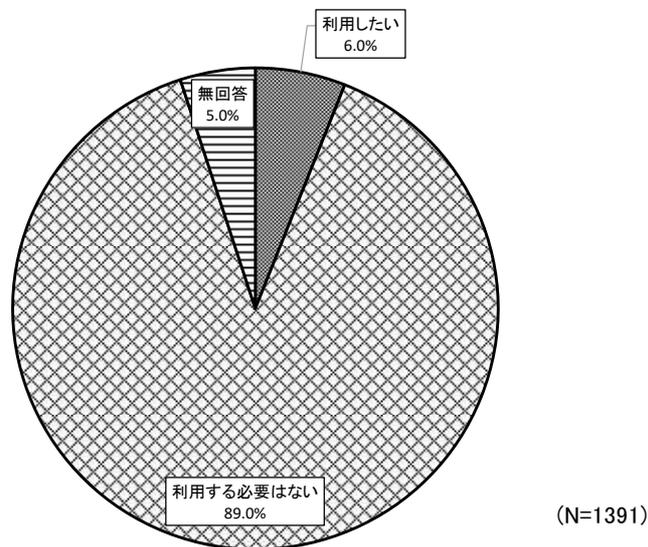
親子短期支援事業(ショートステイ事業)を「知っているが、利用したことはない」と回答した人の利用しない理由は、「これまで泊りがけで預ける状況がなかった」が 70.7%で最も高く、次いで「ショートステイ以外に預け先があった」10.5%、「親族や知り合い以外に泊りがけで預けるのは不安」9.7%となっている。



(42) 親子短期支援事業(ショートステイ事業)の利用希望(問 20-3)

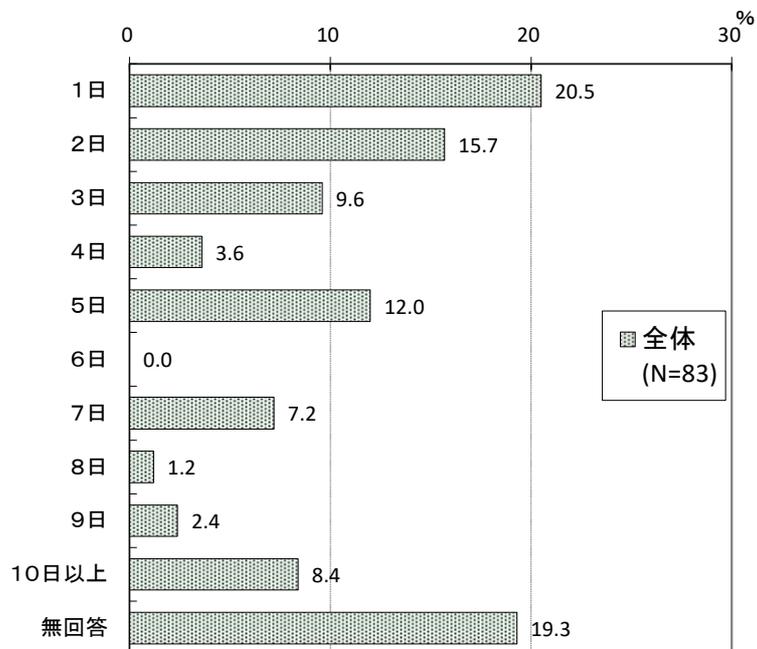
【利用希望】

親子短期支援事業(ショートステイ事業)の利用希望は「利用したい」が 6.0%、「利用する必要はない」が 89.0%である。



【利用希望日数】

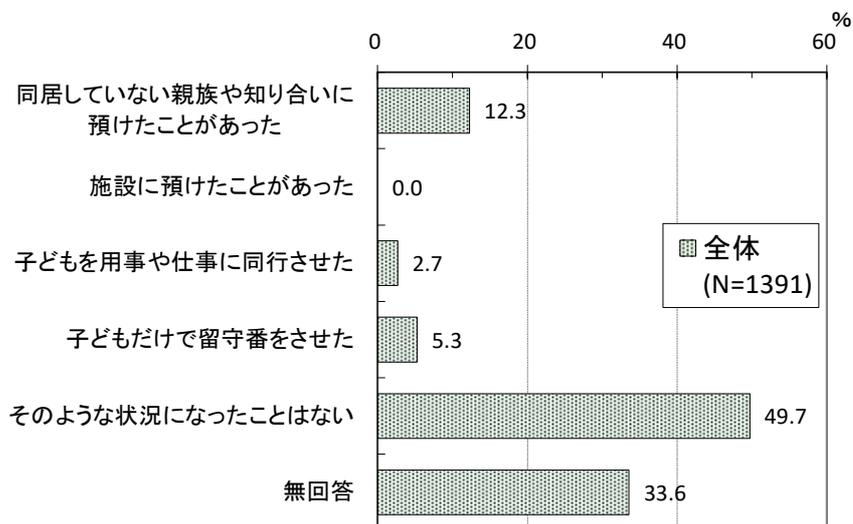
利用したいと回答した人の利用希望日数は「1日」が 20.5%で最も高く、次いで「2日」15.7%、「5日」12.0%となっている。



(43) この1年間に子どもを親族や知り合い、施設等に預けた状況(問 21)

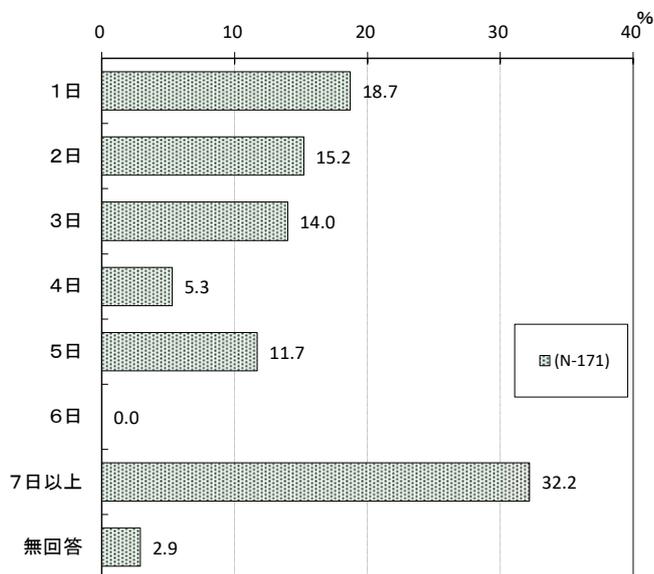
【預けた状況】

この1年間に保護者の仕事の理由等で夜間に帰宅するなどにより、同居していない親族や知り合い、施設に預けた状況があるか尋ねたところ、「そのような状況になったことはない」が 49.7%で最も高く、次いで「同居していない親族や知り合いに預けたことがあった」12.3%となっている。

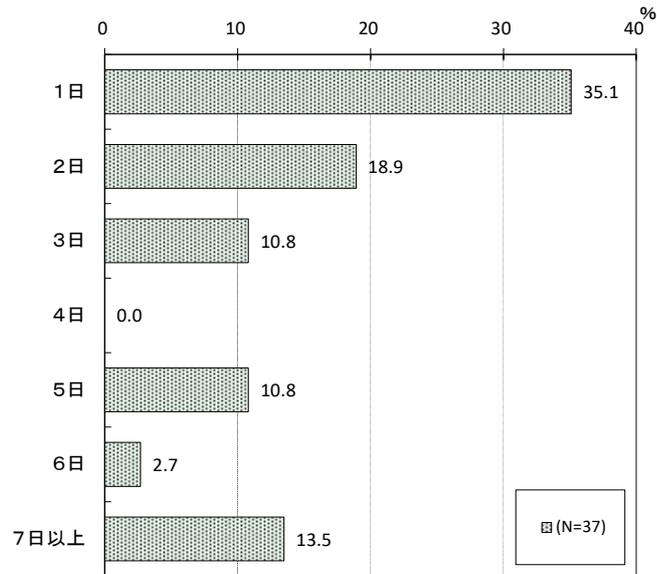


【預けた日数】

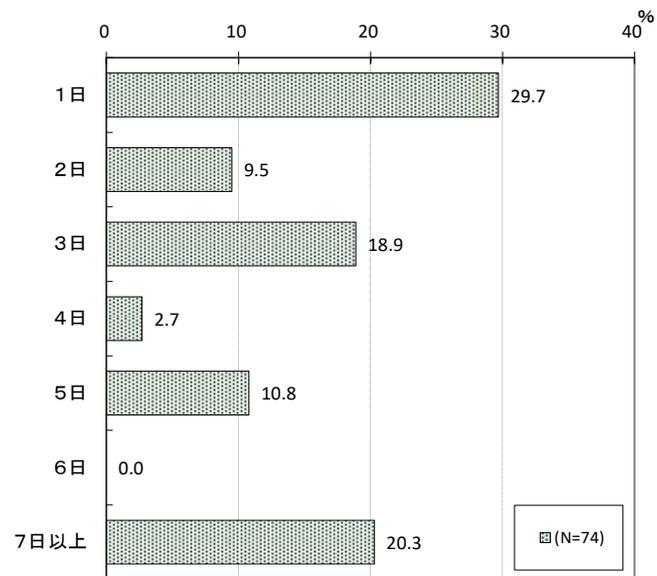
○同居していない親族・知人に子どもを預けた



○子どもを同行させた



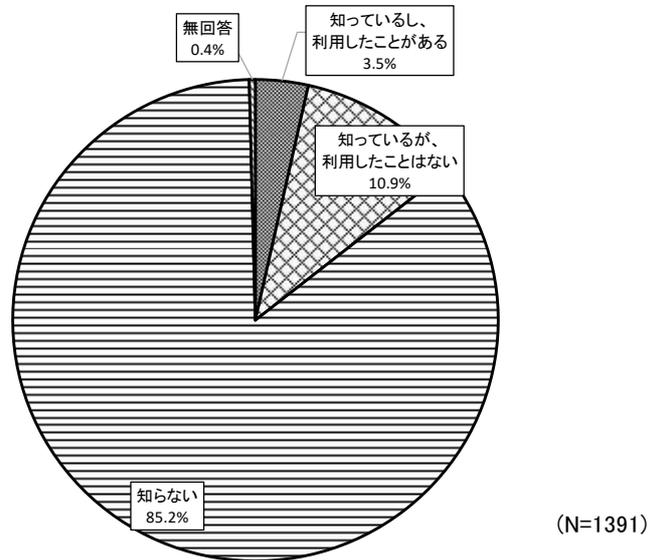
○子どもだけで留守番をさせた



(注)「施設に預けたことがあった」は回答数が 0 件のため表示していない。

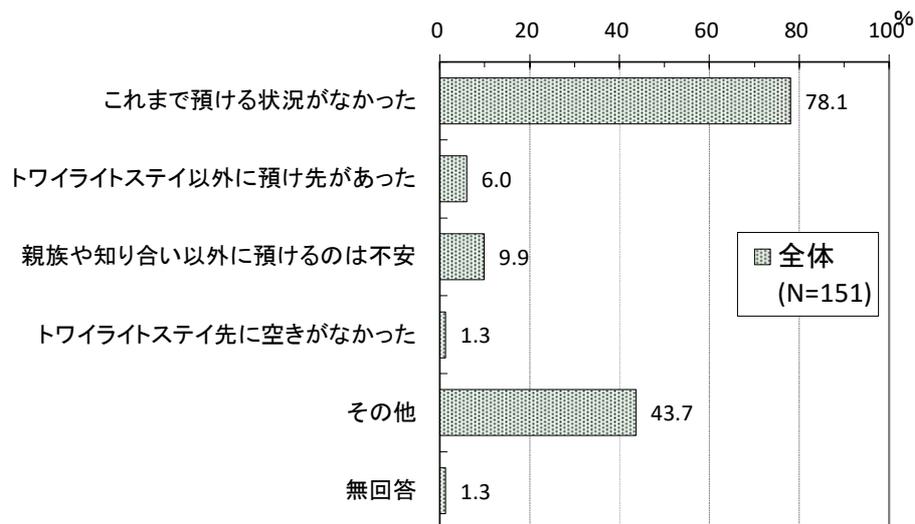
(44) 児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)の認知度(問 21-1)

児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)の認知度は「知っているし、利用したことがある」が 3.5%、「知っているが、利用したことはない」が 10.9%となっている。「知らない」は 85.2%である。



(45) 児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)を利用しない理由(問 21-2)

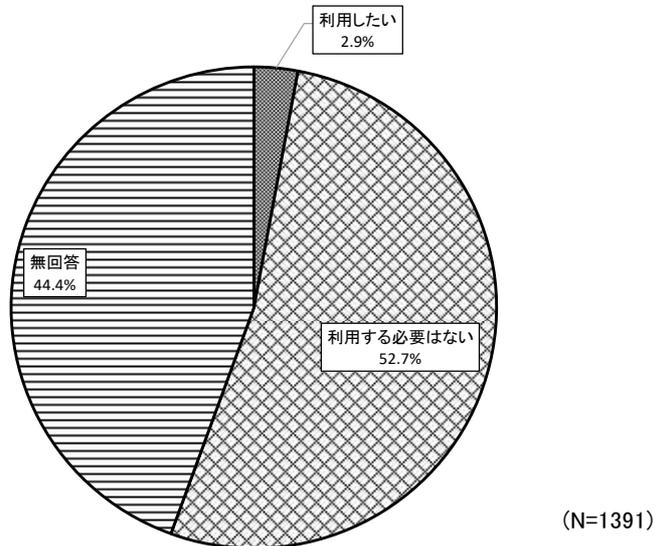
児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)を「知っているが、利用したことはない」と回答した人の利用しない理由は、「これまで預ける状況がなかった」が 78.1%で最も高く、次いで「親族や知り合い以外に預けるのは不安」9.9%、「トワイライトステイ以外に預け先があった」6.0%となっている。



(46) 児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)の利用希望(問 21-3)

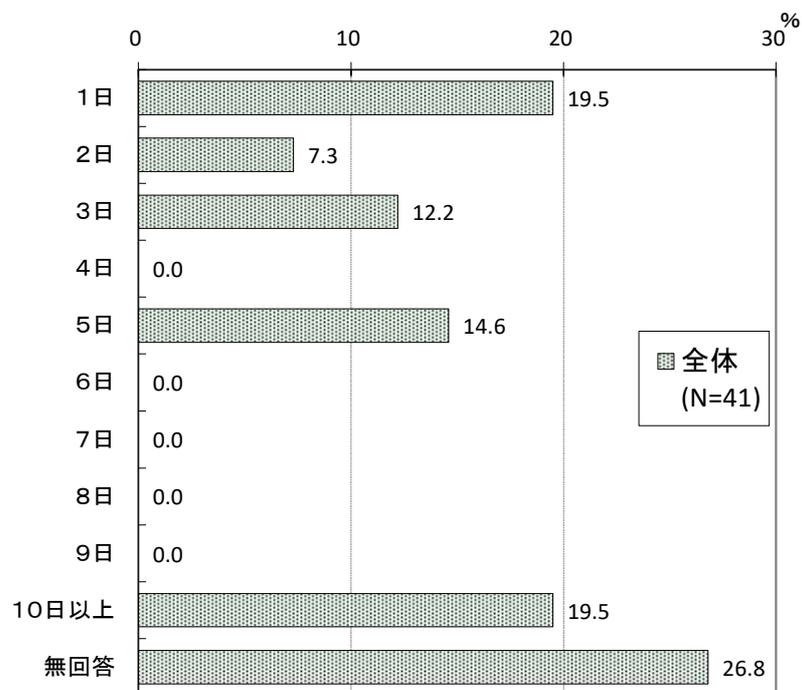
【利用希望】

児童夜間養育事業(トワイライトステイ事業)の利用希望は「利用したい」が2.9%、「利用する必要はない」が52.7%である。



【利用希望日数】

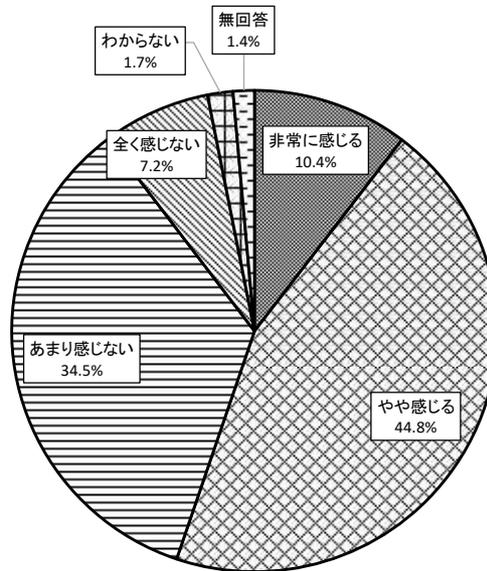
利用したいと回答した人の利用希望日数は「10日以上」が19.5%で最も高く、次いで「1日」19.5%、「5日」14.6%となっている。



5. 子育てに関する状況

(47) 子育てに関する悩みや不安の有無(問 22)

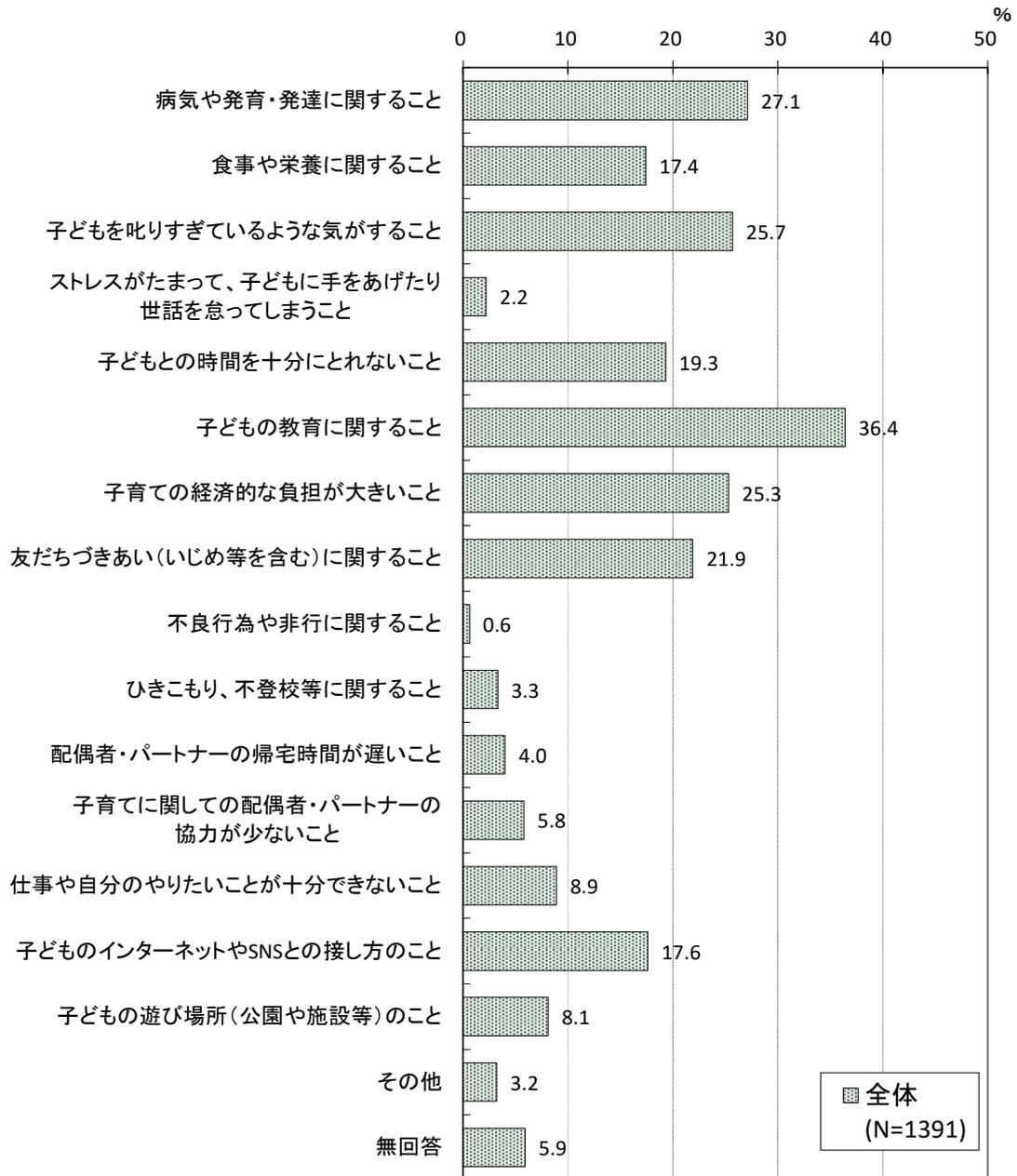
悩みや不安を「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『悩みや不安を感じる』の割合は 55.2%で、「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせた『悩みや不安を感じない』の割合は 41.7%となっている。



(N=1391)

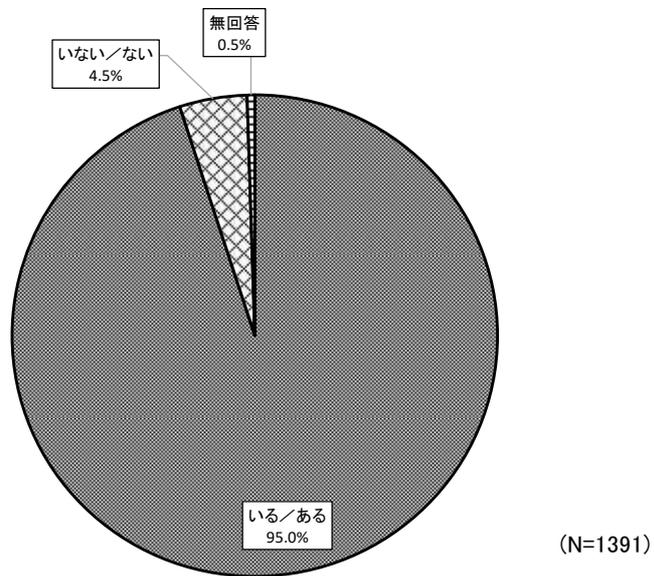
(48) 子育てに関して、日常悩んでいることや気になること(問 23)【複数回答】

子育てに関して悩んでいることは、「子どもの教育に関すること」が 36.4%で最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」27.1%、「子どもを叱りすぎているような気がする」こと25.7%、「子育ての経済的な負担が大きいこと」25.3%となっている。



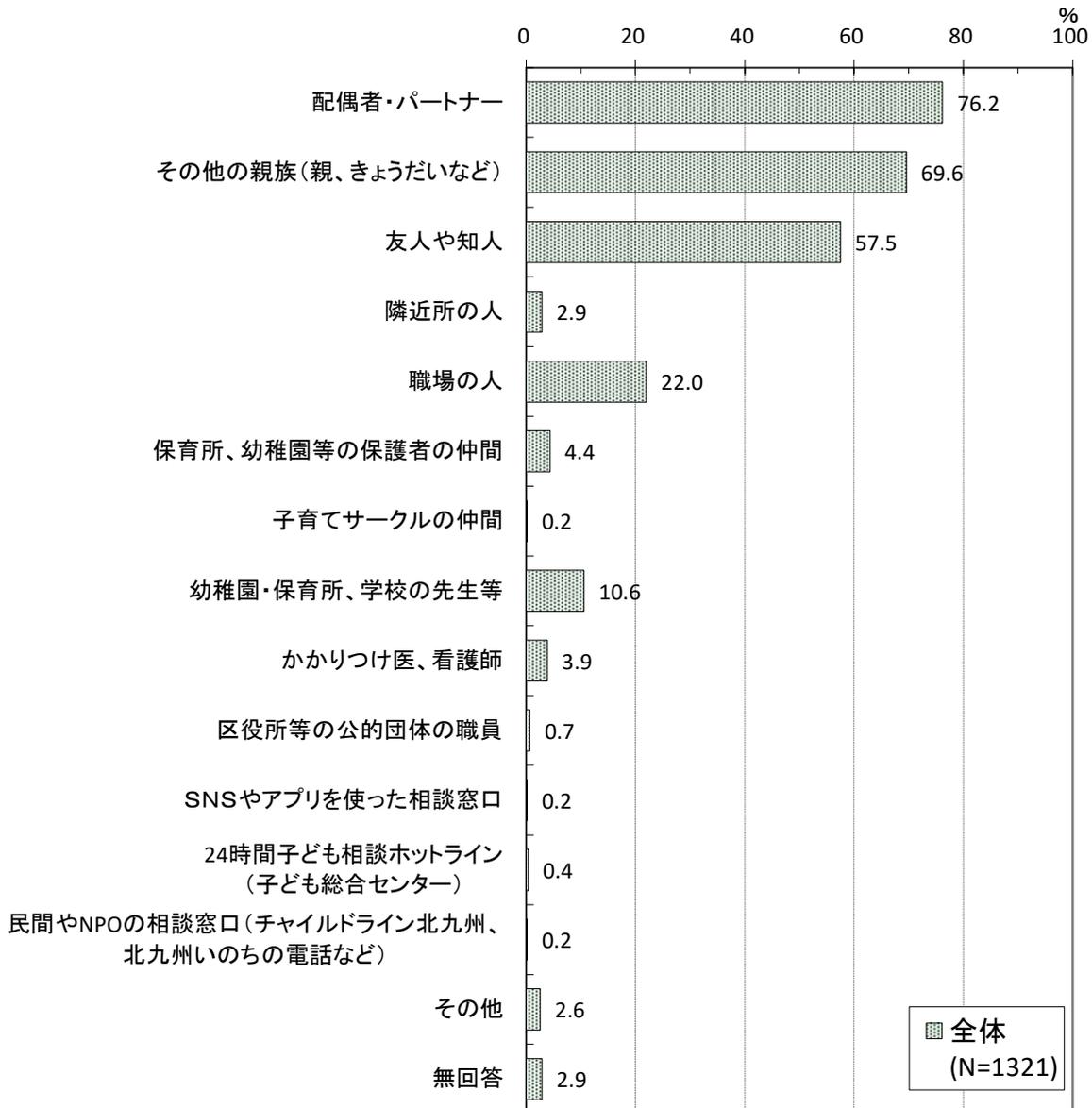
(49) 子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人(問 24)

相談できる人や場所が「いる／ある」は 95.0%、「いない／ない」は 4.5%となっている。



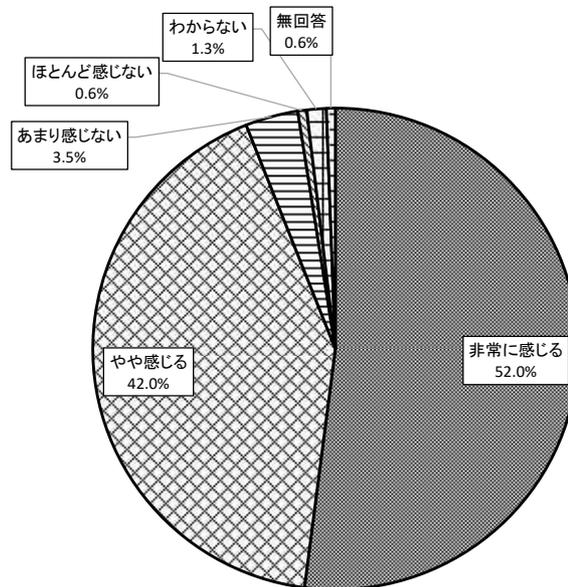
(50) 子育てに関する悩みや不安を相談する先(問 24-1)【複数回答】

子育てに関する悩みや不安を相談する先は、「配偶者・パートナー」が 76.2%で最も高く、次いで「その他の親族(親、きょうだいなど)」69.6%、「友人や知人」57.5%、「職場の人」22.0%となっている。



(51) 子育てを楽しんでいるか(問 25)

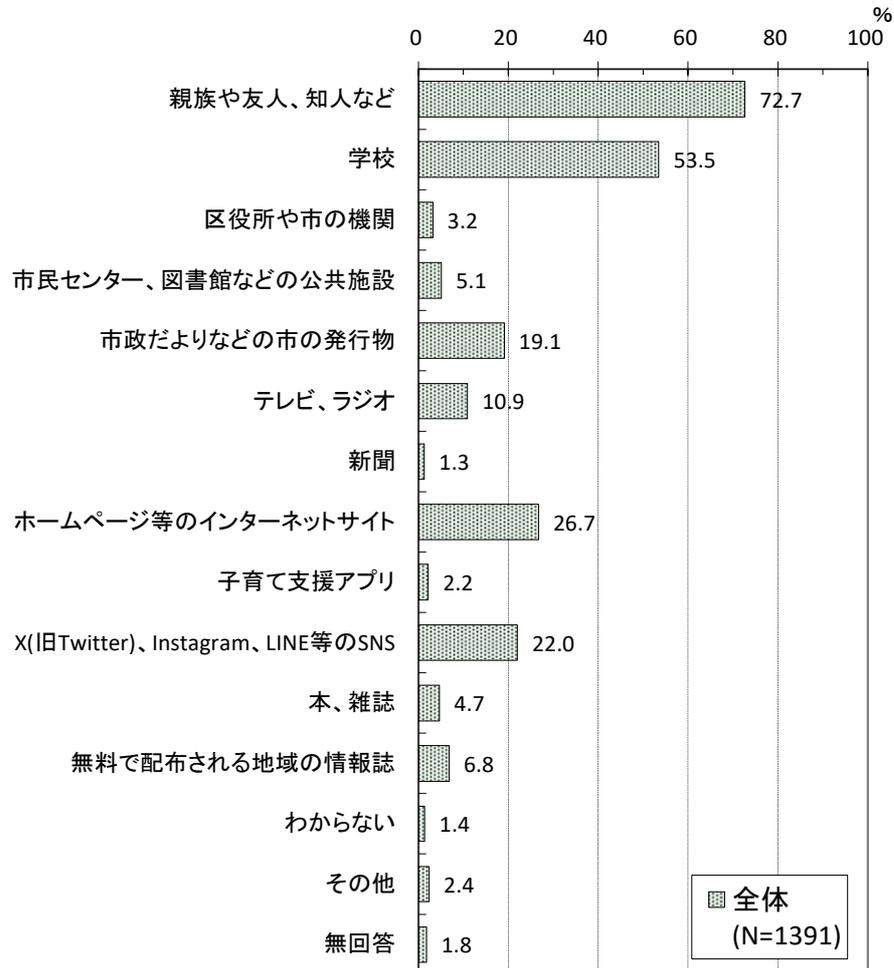
子育てを楽しんでいると「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『子育てを楽しんでいる』割合は94.0%で、「あまり感じない」と「ほとんど感じない」を合わせた『子育てを楽しんでいる』割合は4.1%となっている。



(N=1391)

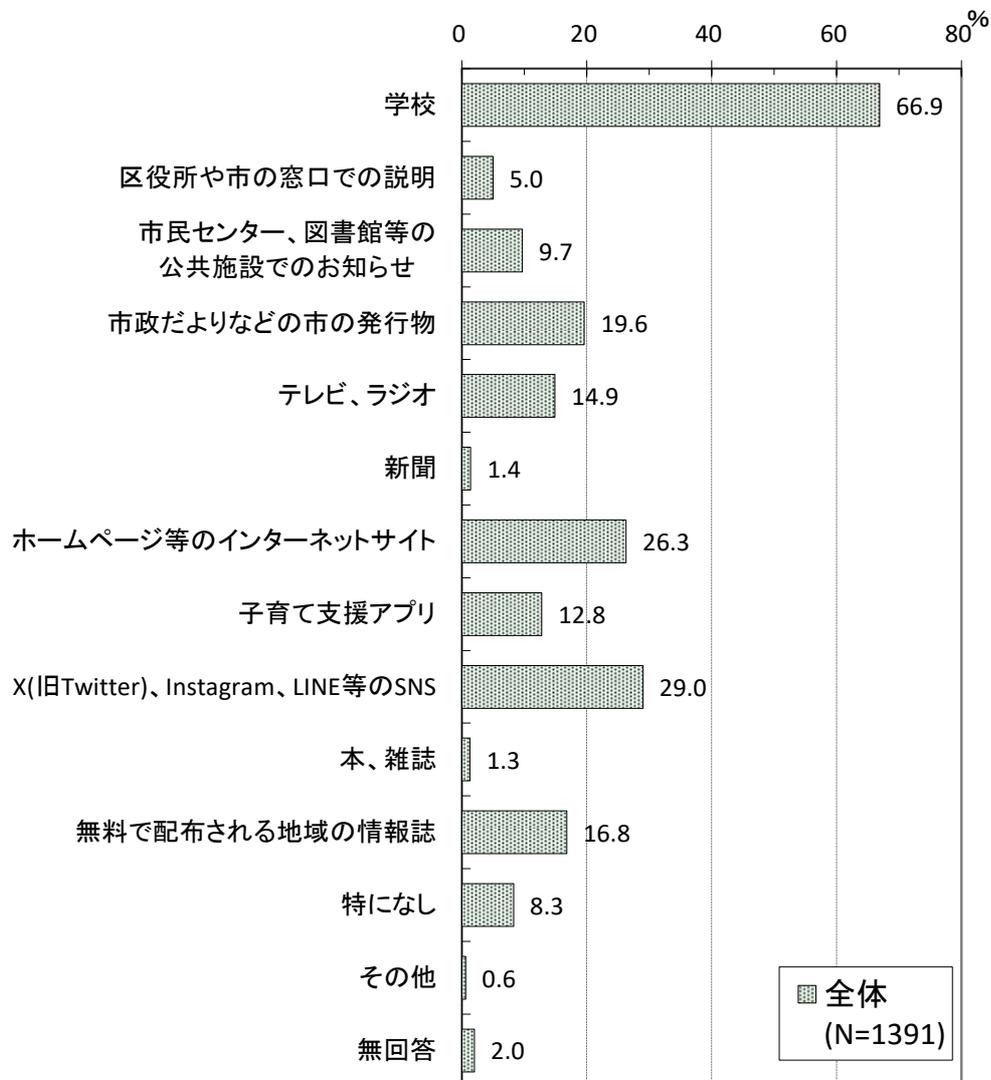
(52) 子育てに関する情報の入手先(問 26)【複数回答】

子育てに関する情報の入手先は、「親族や友人、知人など」が 72.7%で最も高く、次いで「学校」53.5%、「ホームページ等のインターネットサイト」26.7%、「X(旧 Twitter)、Instagram、LINE 等のSNS」22.0%となっている。



(53) より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信手段(場所)(問 27)【複数回答】

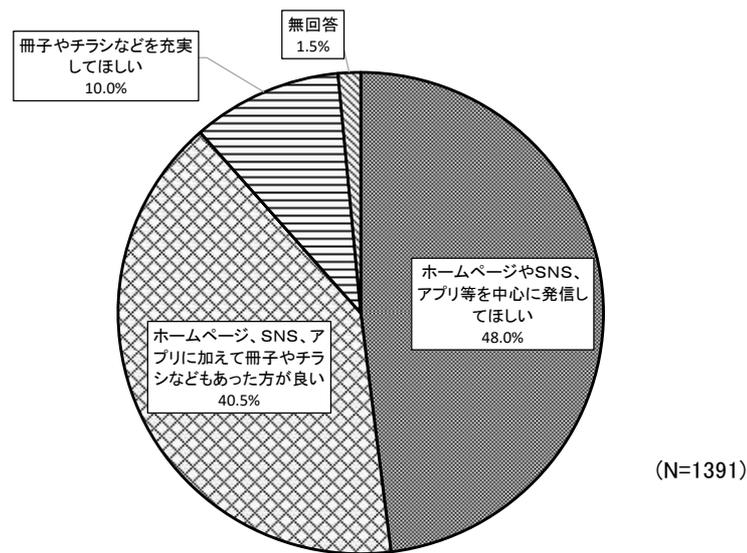
より力を入れてほしい情報発信の手段(場所)は、「学校」が 66.9%で最も高く、次いで「X(旧 Twitter)、Instagram、LINE 等の SNS」29.0%「ホームページ等のインターネットサイト」26.3%、「市政だよりなどの市の発行物」19.6%となっている。



(54) 行政の子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)(問 27-1)

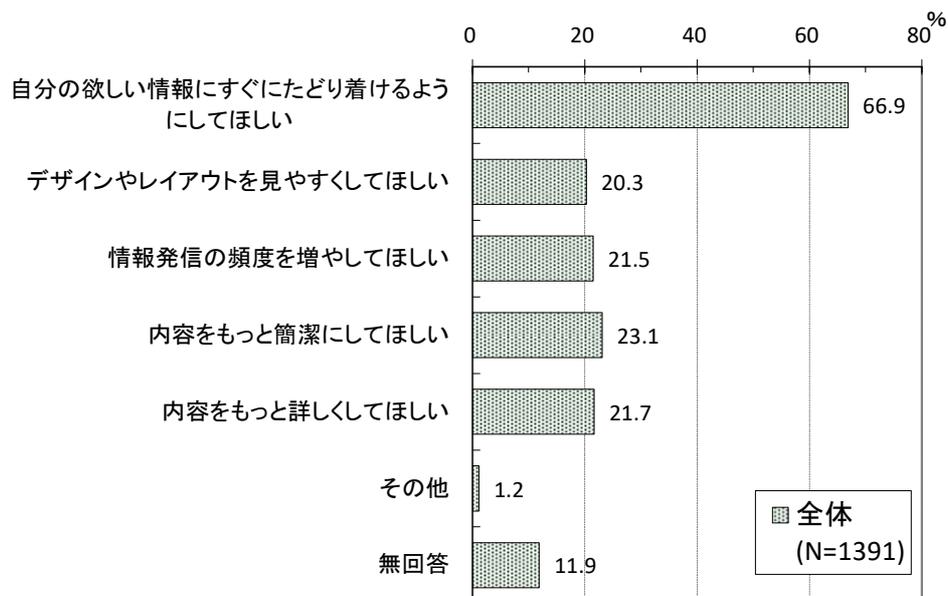
① 情報媒体(SNSや冊子等)

子育て情報を発信する媒体(SNSや冊子等)は、「ホームページやSNS、アプリ等を中心に発信してほしい」が 48.0%、「ホームページ、SNS、アプリに加えて冊子やチラシなどもあった方がよい」40.5%、「冊子やチラシなどを充実してほしい」10.0%となっている。



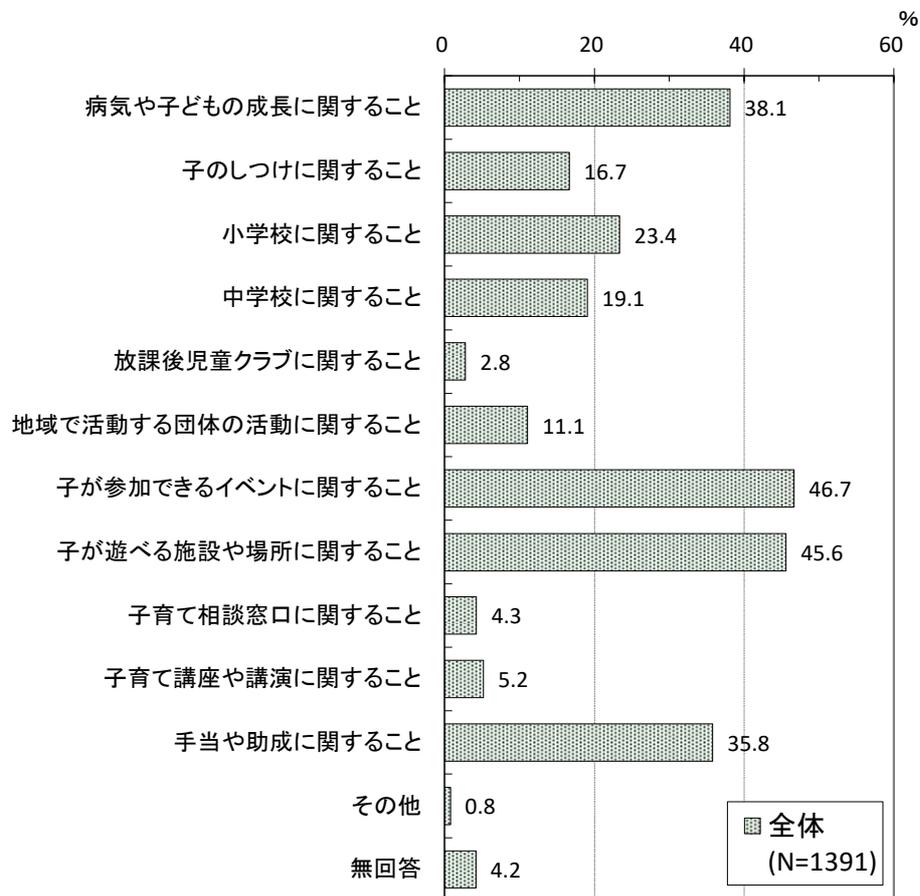
② 改善点【複数回答】

改善してほしい点は、「自分の欲しい情報にすぐにとり着けるようにしてほしい」が 66.9%で最も高く、その他の項目は 20%台前半で、ほぼ同率となっている。



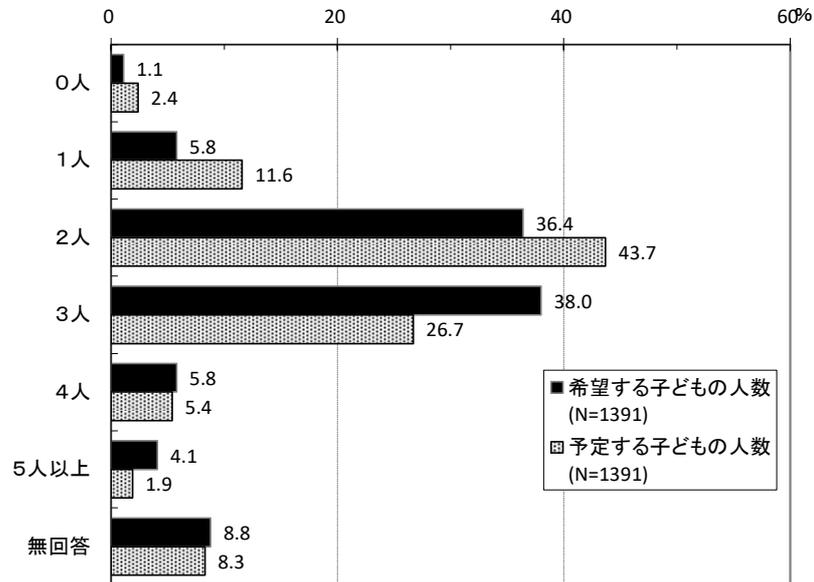
③ 知りたい情報【複数回答】

知りたい情報は、「子が参加できるイベントに関すること」が 46.7%、「子が遊べる施設や場所に関すること」45.6%、「病気や子どもの成長に関すること」38.1%、「手当や助成に関すること」35.8%となっている。



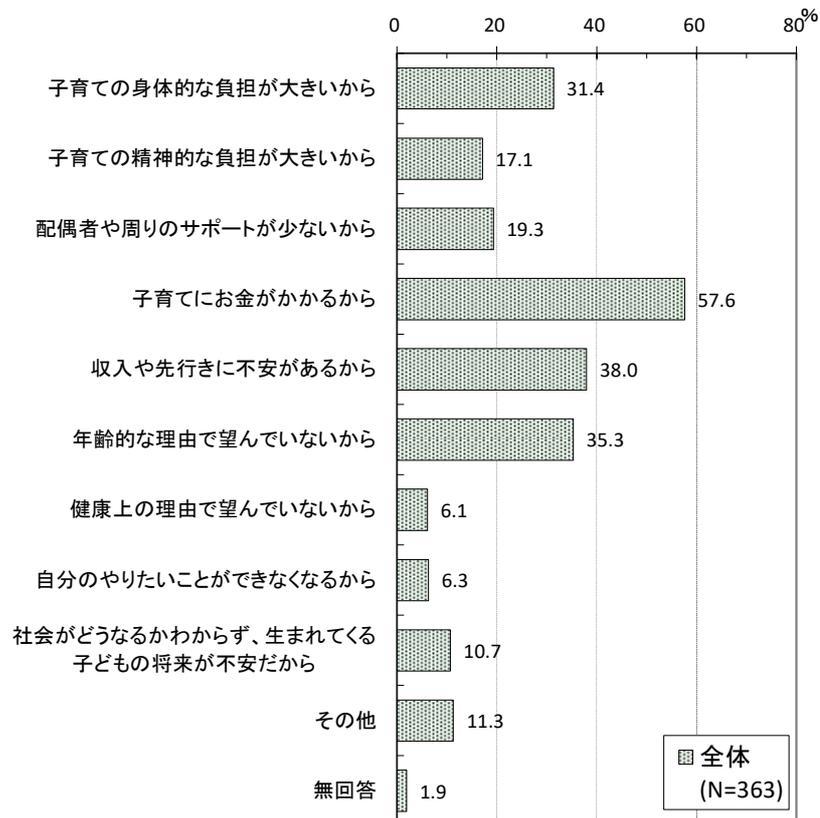
(55) 希望する子どもの人数と実際に予定している子どもの人数(問 28)

希望する子どもの人数は「3人」が38.0%で最も高く、次いで「2人」36.4%となっている。実際に予定している子どもの数は「2人」が43.7%、「3人」が26.7%となっている。



(56) 希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない理由(問 28-1)【複数回答】

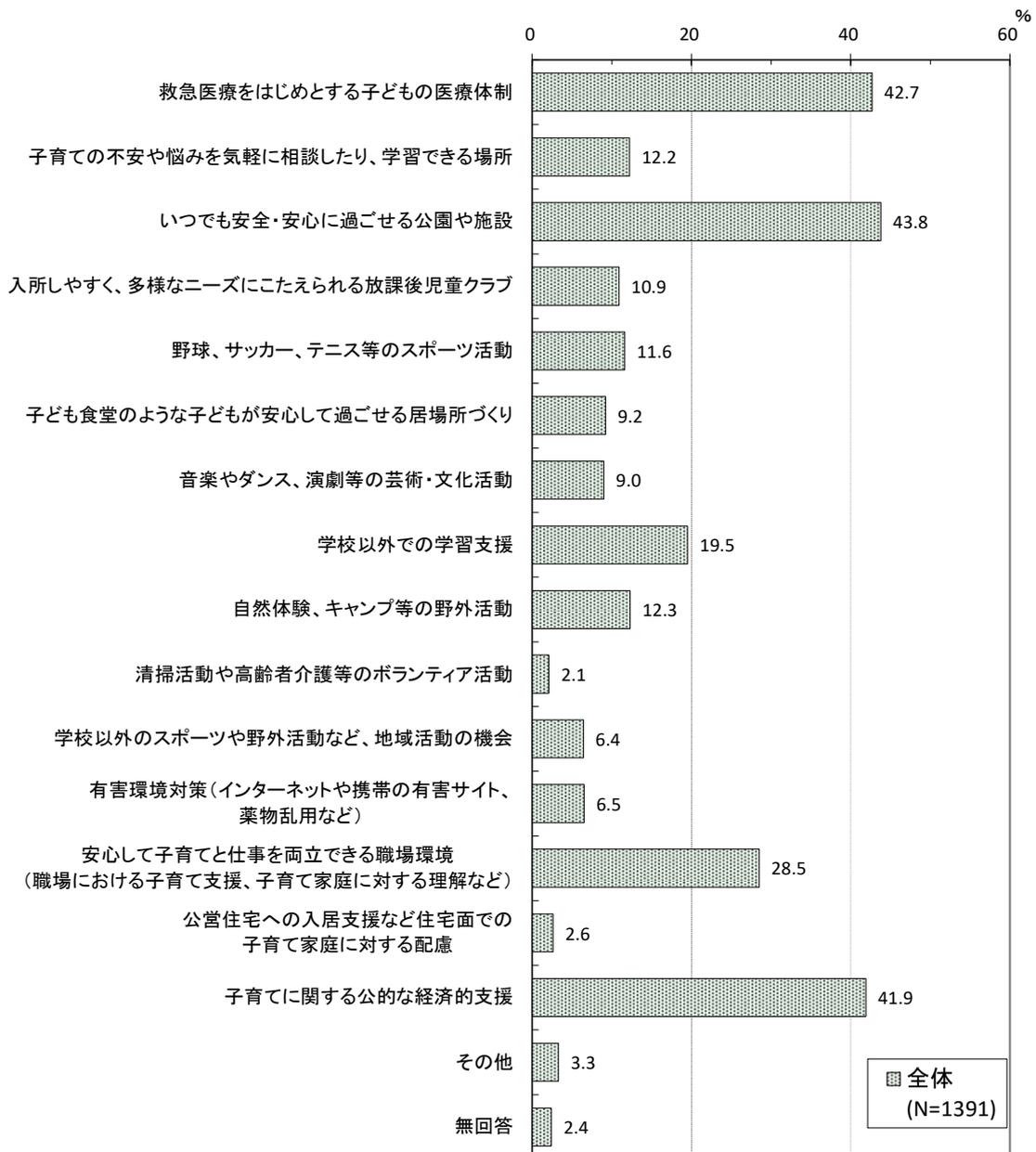
(56)で希望する子どもの人数より実際に予定している子どもの人数が少ない人にその理由を尋ねたところ、「子育てにお金がかかるから」が57.6%で最も高く、次いで「収入や先行きに不安があるから」38.0%、「年齢的な理由で望んでいないから」35.3%、「子育ての身体的な負担が大きいから」31.4%となっている。



6. 今後の北九州市の子育て支援

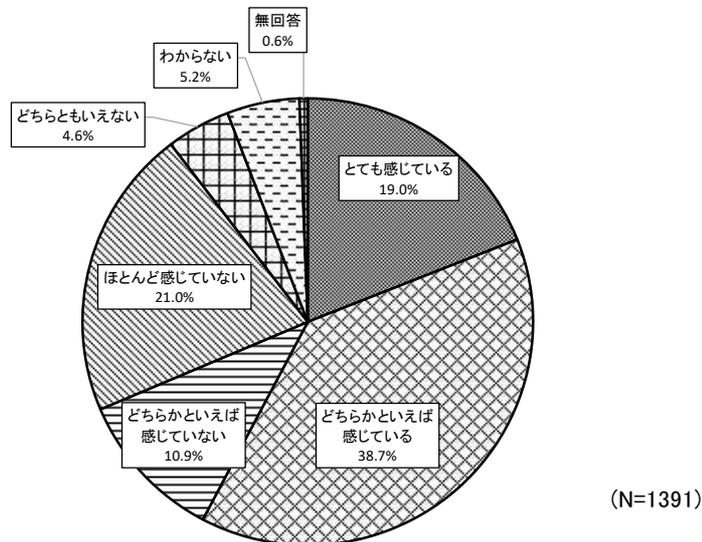
(57) より力を入れてほしい子育て支援策(問 29)【複数回答】

より力を入れてほしい子育て支援策は、「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」が 43.8%で最も高く、「救急医療をはじめとする子どもの医療体制」42.7%、「子育てに関する公的な経済的支援」41.9%、「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境(職場における子育て支援、子育て家庭に対する理解など)」28.5%となっている。



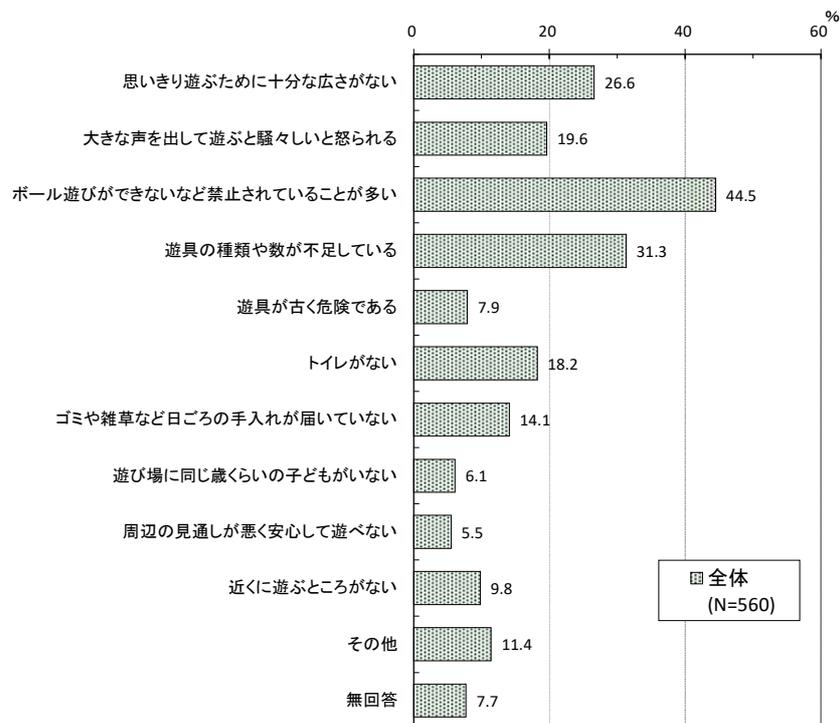
(58) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか(問 30)

子育てが地域の人に支えられていると感じるかは、「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた『支えられていると感じている』割合は 57.7%で、「どちらかといえば感じていない」と「ほとんど感じていない」を合わせた『支えられていると感じていない』割合は 31.9%となっている。



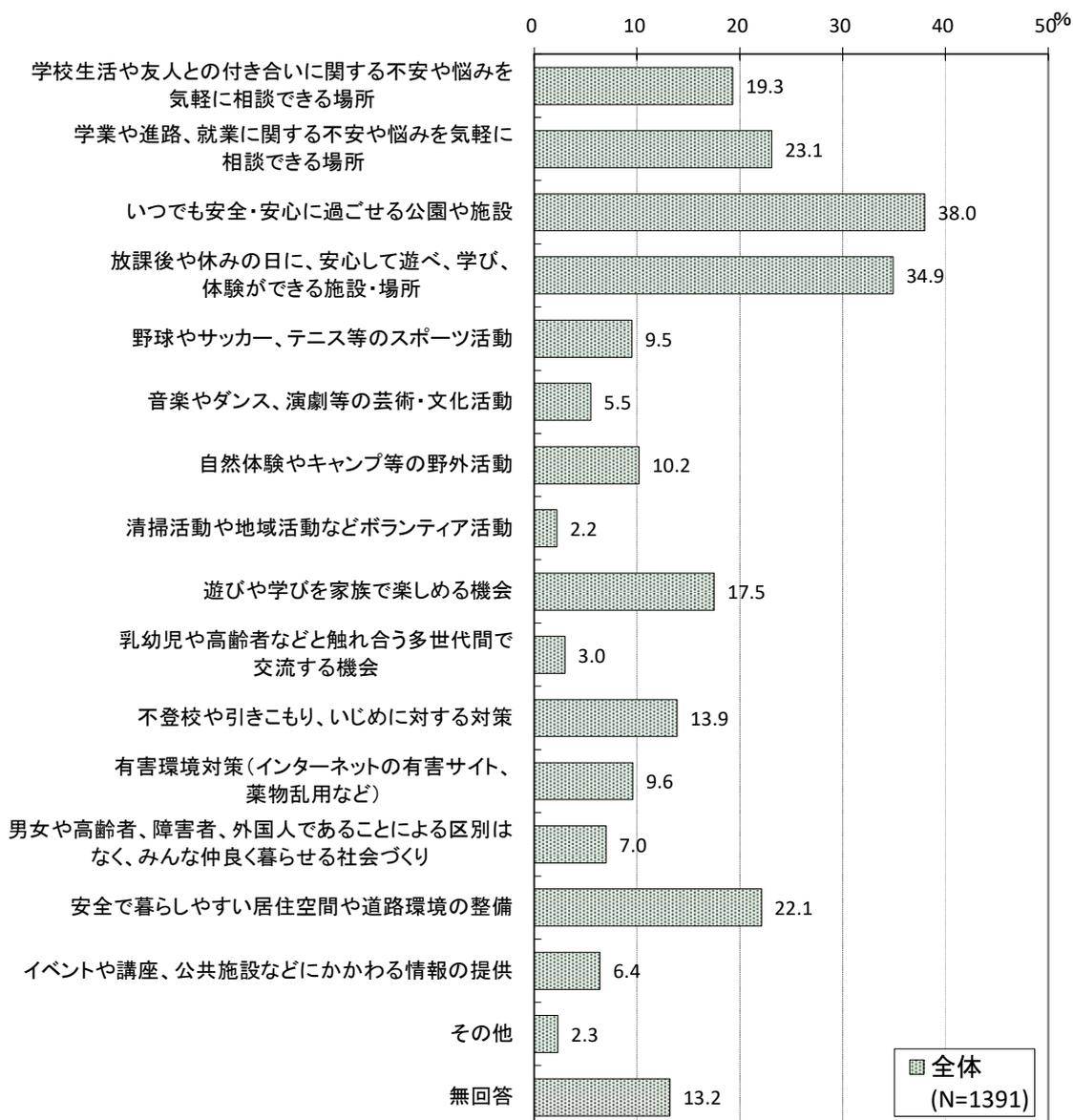
(59) 子どもの遊び場について(小学校高学年のみ)(問 31)

小学校高学年(4～6年生)の子どもをもつ保護者が子どもの遊び場について日ごろ感じていることは、「ボール遊びができないなど禁止されていることが多い」が 44.5%で最も高く、次いで「遊具の種類や数が不足している」31.3%、「思いきり遊ぶために十分な広さがない」26.6%となっている。



(60) 普段の生活や将来のことを考えて、より力を入れてほしい支援策(問 32)【複数回答】

普段の生活や将来のことを考えて、より力を入れてほしい支援策は、「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」が 38.0%で最も高く、次いで「放課後や休みの日に、安心して遊べ、学び、体験ができる施設・場所」34.9%、「学業や進路、就業に関する不安や悩みを気軽に相談できる場所友人や知人」23.1%、「安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備」22.1%となっている。

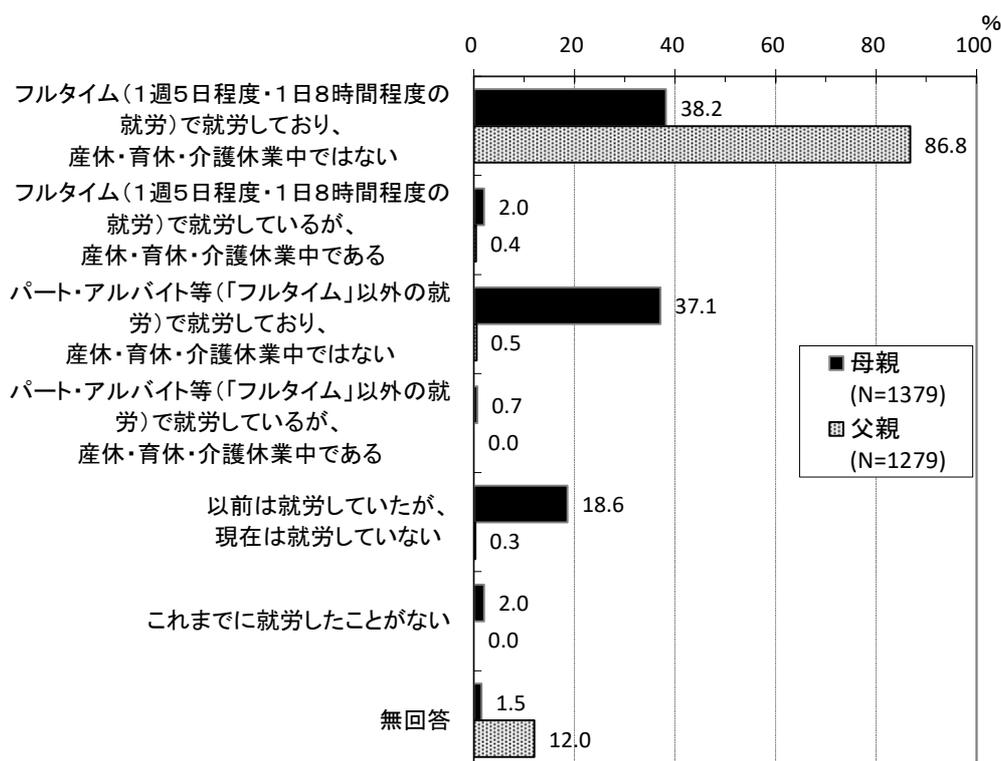


7. 子どもの保護者の就労状況

(61) 現在の就労状況(問 33(1)、問 33(2))

母親の就労状況は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 38.2%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」37.1%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」18.6%となっている。

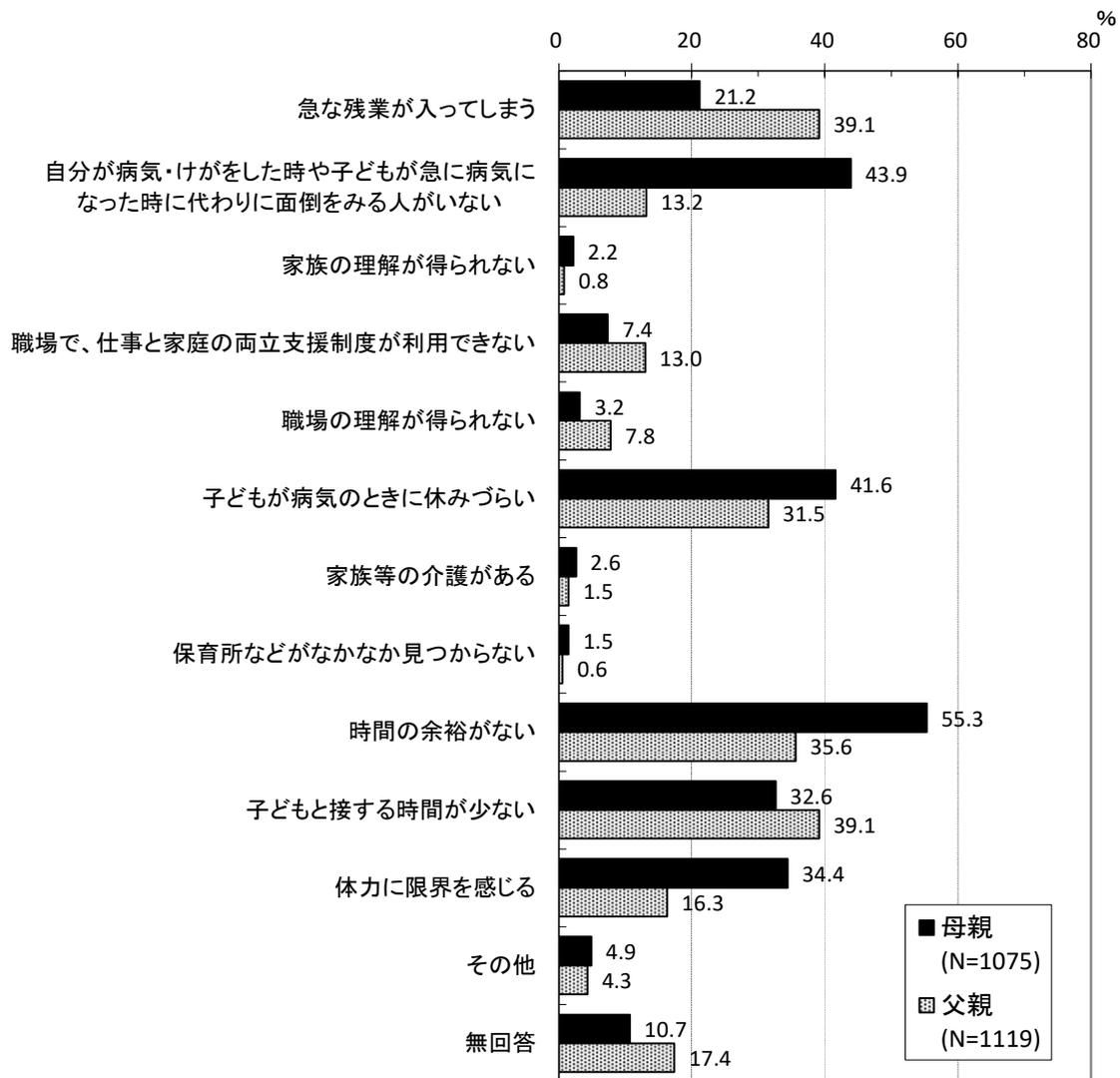
父親は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 86.8%となっている。



(62) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること(問 33(1)-1、問 33(2)-1)【複数回答】

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについて尋ねたところ、母親は、「時間の余裕がない」が 55.3%で最も高く、次いで「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」43.9%、「子どもが病気のときに休みづらい」41.6%となっている。

父親は、「子どもと接する時間が少ない」、「急な残業が入ってしまう」が同率 39.1%で最も高く、次いで「時間の余裕がない」35.6%、「子どもが病気のときに休みづらい」31.5%となっている。

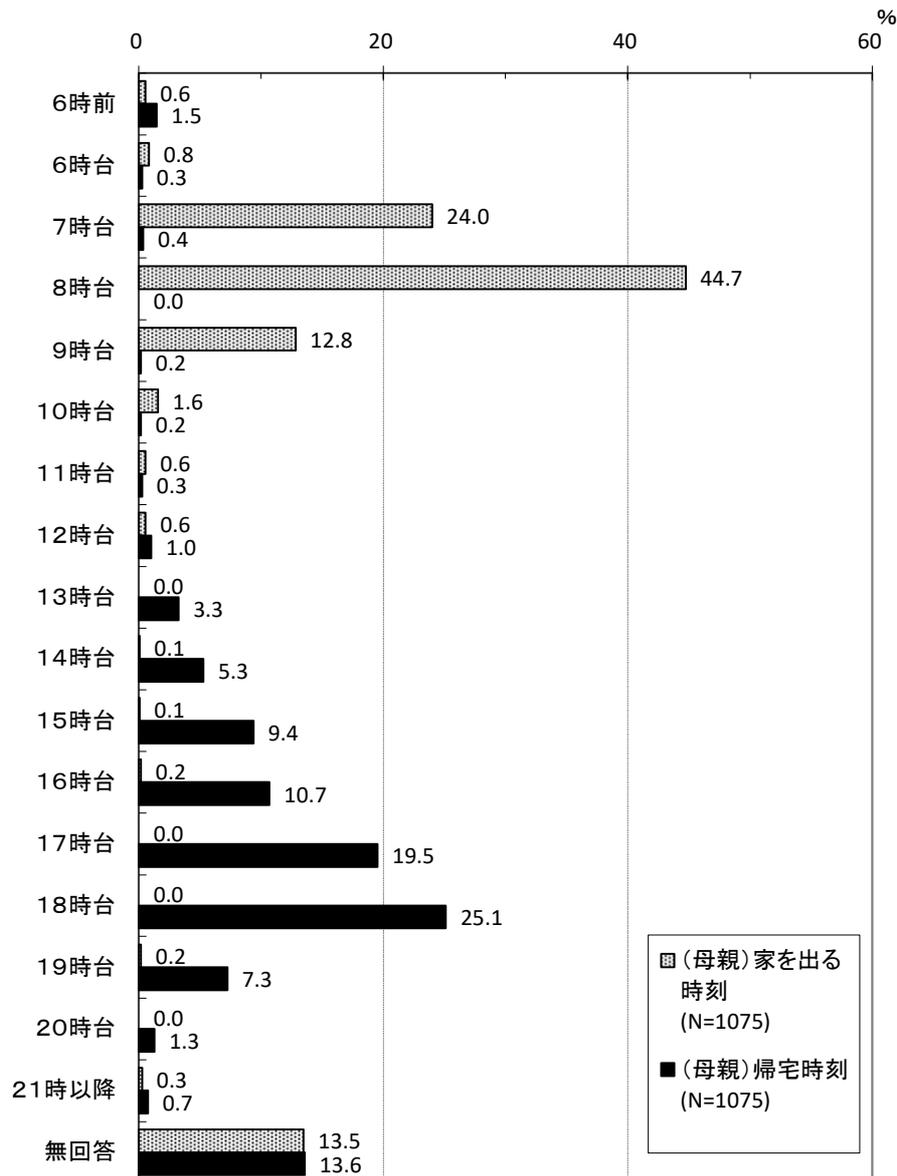


(63) 家を出る時間及び帰宅時間(問 33(1)-2、問 33(2)-2)

① 母親

母親が家を出る時刻は、「8時台」が 44.7%で最も高く、次いで「7時台」24.0%、「9時台」12.8%となっている。

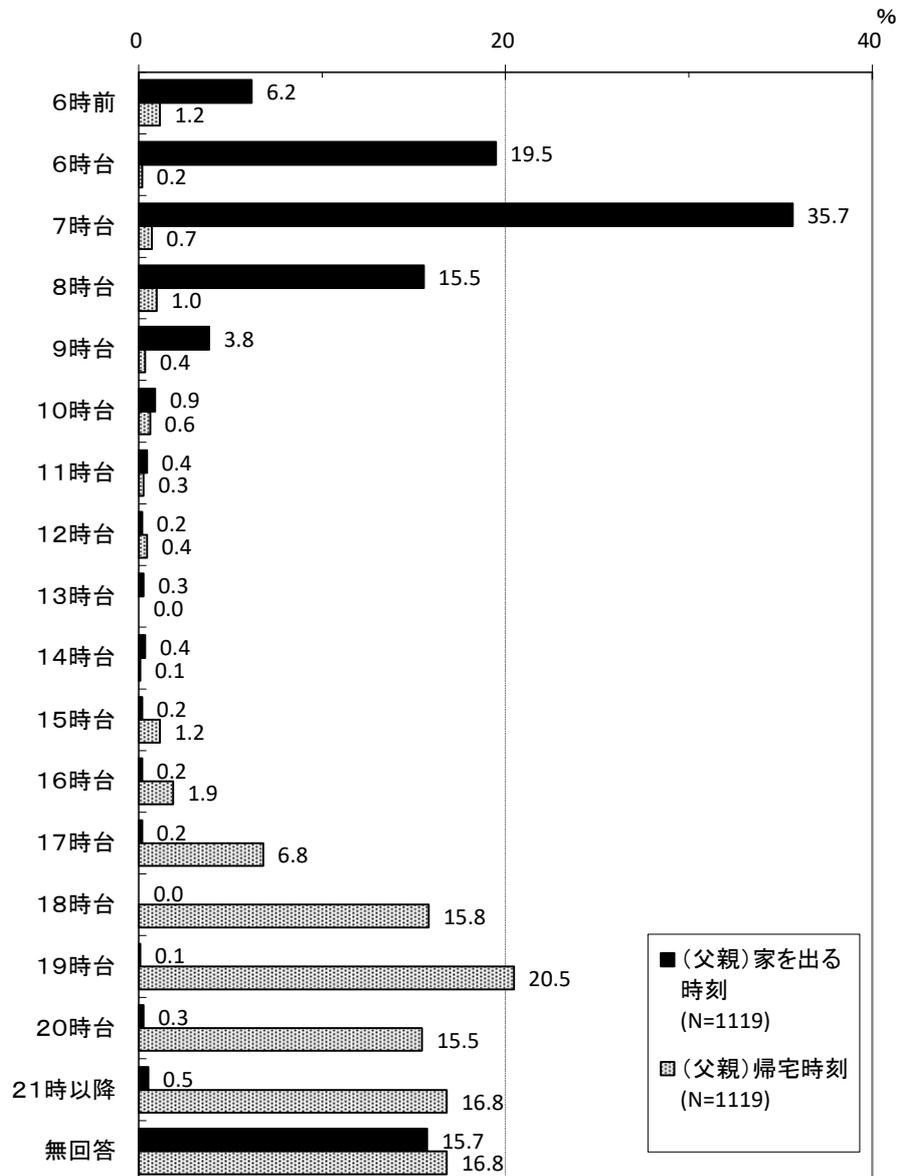
帰宅時刻は、「18時台」が 25.1%で最も高く、次いで「17時台」19.5%、「16時台」10.7%となっている。



② 父親

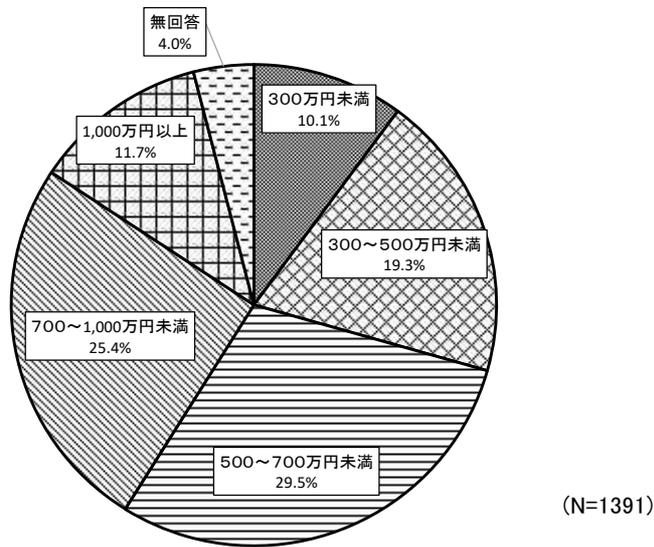
父親が家を出る時刻は、「7時台」が35.7%で最も高く、次いで「6時台」19.5%、「8時台」15.5%となっている。

帰宅時刻は、「19時台」が20.5%で最も高く、次いで「21時以降」16.8%、「18時台」15.8%となっている。



(64) 世帯全体の年収(問 33-1)

世帯全体の年収は、「500～700万円未満」が 29.5%で最も高く、次いで「700～1,000万円未満」25.4%、「300～500万円未満」19.3%となっている。



(65) 「共育て」の推進に必要なこと(問 34)【複数回答】

男女がともに子育てをしていく「共育て」の推進に必要なことは「夫婦の間で十分に話し合い、家事などを分担すること」が 41.0%で最も高く、次いで「育児に関連する休暇・休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること」36.5%、「家事や育児を男女で分担するような育て方や教育をすること」33.9%となっている。

